

見積書・実行予算書作成システム

**MtWinPRO**  
エムティウィンプロ

ユーザーズマニュアル

株式会社 イチホコンピュータ

〒187-0004 東京都小平市天神町 1-300-5

<http://www.ichiho.co.jp>

# 目 次

1.	イントロダクション.....	1
1.1.	MtWinProへようこそ.....	1
1.2.	MtWinProの仕様.....	3
2.	クイックツアー.....	9
2.1.	起動.....	9
2.2.	既存の見積書を開く.....	9
2.3.	階層を移動する.....	10
2.4.	入力画面を切り替える.....	11
2.5.	現在の見積書をもとに新規の見積書を作成する.....	11
2.6.	見積書の金額を変えてみる.....	12
2.7.	見積書の情報を設定する.....	13
2.8.	見積書を印刷してみる.....	13
2.9.	見積書を保存する.....	14
2.10.	雛型を使い見積書を作成する.....	14
3.	MtWinProの基本的な知識.....	15
3.1.	見積書データファイルについて.....	15
3.1.1.	MtWinエクスプローラーで見積書データファイルを管理する.....	15
3.2.	見積書レイアウトファイル.....	17
3.3.	階層型見積.....	18
3.4.	行属性.....	18
3.4.1.	小計行の集計範囲.....	19
3.4.2.	経費・歩掛り行.....	19
3.5.	優先モード.....	20
3.6.	原価率.....	21
3.7.	調整率.....	21
3.8.	代価表.....	21
3.9.	部材コード.....	22
3.10.	歩掛り管理.....	22
3.11.	業者管理.....	23
3.12.	工事原価管理システムGkWinとの連動.....	23
3.13.	4要素別実行予算.....	24
3.14.	セットアップパスワード.....	24
3.15.	マスター.....	25

3.15.1.	部材・項目マスター .....	25
3.15.2.	業者マスター .....	26
3.15.3.	単位マスター .....	27
3.15.4.	顧客、敬称、担当者、見積書分類マスター .....	27
3.16.	他システムとのデータ受け渡し.....	27
3.16.1.	簡易テキスト形式 .....	27
3.16.2.	BCS, CSV .....	28
3.16.3.	単価FDの読み込み.....	28
3.16.4.	GkWinへのデータ受け渡し .....	29
4.	入力画面.....	31
4.1.	実行予算入力画面 .....	32
4.2.	基準見積入力画面 .....	33
4.3.	提出見積入力画面 .....	34
4.4.	実行予算/業者入力画面 .....	35
4.5.	実行予算(4要素)入力画面 .....	36
4.6.	歩掛り入力画面 .....	37
4.7.	摘要/部材コード入力画面 .....	38
4.8.	GkWin工種入力画面.....	39
5.	見積書編集 .....	41
5.1.	基本的なキー操作.....	41
5.2.	MDIウィンドウ形式.....	41
5.3.	行を複写する .....	41
5.4.	行を切り取る.....	42
5.5.	行の範囲を指定する.....	42
5.6.	上下の階層へ移る.....	42
5.7.	前後の内訳へ移る.....	42
5.8.	空白行を挿入する .....	43
5.9.	行の属性を設定する.....	43
5.10.	行を上下に移動する.....	43
5.11.	数量、単価を0にする.....	43
5.12.	簡易電卓 .....	43
5.13.	部材・項目マスターを呼び出す.....	43
5.14.	部材・項目マスターの編集を行う.....	44
5.15.	文字列を検索する .....	44
5.16.	カーソル移動方向を変える.....	44
5.17.	見積金額を自由自在に調整する.....	45
6.	各種設定.....	47
6.1.	見積書(工事)の情報を設定する .....	47

6.2.	システム情報の登録.....	50
6.2.1.	[環境]メニュー[システム情報の設定]／基本設定 .....	50
6.2.2.	[環境]メニュー[システム情報の設定]／端数設定 .....	51
6.2.3.	[環境]メニュー[システム情報の設定]／新規工事初期設定 .....	52
6.2.4.	[環境]メニュー[システム情報の設定]／歩掛り設定 .....	53
7.	印刷.....	55
7.1.	見積書印刷.....	55
7.2.	見積書一覧表 .....	57
7.3.	材料調書 .....	58
7.4.	詳細報告書.....	59
7.5.	実行予算書(4要素)印刷.....	60
7.5.1.	4要素別実行予算総括書.....	60
7.5.2.	4要素別実行予算内訳書.....	61
7.5.3.	4要素別実行予算リスト .....	62
7.6.	業者集計総括表/業者集計明細表.....	63
8.	見積書レイアウトファイルの編集.....	65
8.1.	基本的な考え方 .....	65
8.2.	付属の見積書レイアウトを変えてみる .....	66
8.3.	用紙のサイズ・向き・余白の設定 .....	68
8.4.	選択ツール(オブジェクトの移動・変形・属性変更・削除) .....	69
8.5.	文字オブジェクトを配置する.....	70
8.6.	直線オブジェクトを描く.....	71
8.7.	矩形オブジェクトを描く.....	71
8.8.	丸角矩形オブジェクトを描く .....	71
8.9.	差込データを配置する.....	72
8.10.	図形の位置・サイズを数値で指定する.....	75
8.11.	行データの自動整列 .....	75
8.12.	横罫線の自動整列 .....	76
8.13.	ビットマップを貼り付ける .....	76
8.14.	オブジェクトを削除する .....	76
8.15.	図形の重なり順を変える.....	77

# 1. イントロダクション

---

## 1.1. MtWinProへようこそ

---

最強の見積書作成システムMtWinProへようこそ！

MtWinProは建設業の階層構造の見積書作成を素早く、簡単に行うことができる建設会社必携のツールです。

### わかりやすい画面表示、軽快な操作性

実行予算、基準見積、提出見積の3画面構成や、深く複雑な階層でも一目でわかる画面表示、キーボードのみで効率のよい入力作業が行える軽快な操作性で使い込むほど手になじむ、まさにツールとよべるシステムです。

### 強力な見積金額調整機能

工事受注へ向け、見積書を思い通りの金額に簡単に調整する強力な機能があります。

### 雛型の活用

1. 見積書の新規作成。
2. 雛型の見積書の内容を数量0にしてコピー。
3. 拾い数量を入力。

の作業だけで新規の見積書が完成します。雛型とする見積書を経験者が作成・管理をしておけば、経験の浅い担当者でも迅速確実に見積書が作成できます。大項目、中項目、内訳などの名称や単価などは雛型の内容そのままなので、自社の見積書の内容や単価の一貫性が簡単に保てます。雛型の見積書は工事の種類別などにいくつでも保存管理が可能です。印刷時に数量の0の項目は印刷しない機能があるので、物件によって使う使わないを意識せずに自社の全工事項目を網羅しておけます。以前の見積書を簡単に新規の見積書に流用できますので、代表的な数パターンを入力してしまえば経験の浅い担当者でも簡単に見積書が作成できます。

### 複数の見積書を同時編集

MDI ウィンドウ形式で10件までの見積書を同時編集が可能です。もちろん見積書間でコピー/貼り付けも可能で、違う見積書の部分引用などが行えます。

### 業者管理

各明細行に業者を設定することが可能で、業者別の集計や発注書の発行が行えます。

### 部材・項目マスター

1ファイル 15000 件以下で、ファイル数無制限で登録が可能です。マスターから見積書への選択はもちろんワンタッチ、マスターの編集も見積書と全く同様に行えます。見積書入力中に対象のマスターファイルの切り替えが行えます。

## ネットワーク対応

複数のコンピュータで使用する場合、システムで共有するフォルダを設定できます。共有フォルダには部材・項目マスターや見積書レイアウトファイルを置き、複数のコンピュータで共有して使用します。分散して使用する場合に比べ部材・項目マスターや見積書レイアウトファイルの管理は1箇所で済むので、ネットワークを構成している環境で使用する場合には不可欠な機能です。

## 代価表機能

土木工事には不可欠な代価表の機能をサポートしています。もちろん代価数量(当量)の設定も可能です。

## 歩掛り機能

最大100種類までの歩掛りを使用できます。専門工事にも完全に対応しています。

## 見積書レイアウト機能

専用の見積書レイアウトツールで何種類でも見積書、予算書、発注書、請求書などを作成することができます。会社のロゴも貼り付け可能で、カラー印刷にも対応しています。

## 見積書印刷

見積書を数量抜きや単価抜きで印刷したい場合はもちろん、それ以上の細かい条件設定が可能なのであらゆる状況にもフレキシブルに対応します。

## 市販単価データ読み込み

(財)経済調査会、(財)建物物価調査会の単価フロッピーの内容を読み込むことが可能です。もちろん読み込んだ単価データを部材・項目マスターとして使うことが出来ます。

## 工事の予算、発注、原価管理へ発展

実行予算、業者発注データを弊社製工事原価管理システム GkWin に転送し、予算管理、発注管理、支払い管理、工事原価集計が行えます。

## MtWinエクスプローラー

増えてしまった見積書の表示選択が効率よく行えます。名称順、顧客順、日付順、金額順...に並び替えるのもワンタッチです。また、ウィンドウズエクスプローラーと全く同様のファイル操作が行えますので、見積書ファイルの分類・整理が簡単に行えます。ドラッグアンドドロップももちろん可能です。さらに見積書一覧表の印刷も行えます。

## ノートパソコンでも軽快動作

解像度800×600から実用になるように設計されていますので、平均的なノートパソコンでもストレス無くご利用頂けます。

## グラフ機能

構成比グラフ(円グラフ)、予算/見積比較グラフ(棒+折れ線グラフ)、利益金額グラフ(棒+折れ線グラフ)の3種類のグラフが用意されており、構成や利益などに十分な検討を加えながらの見積書作成が可能です。

## BCS.CSV 形式のサポート

BCS.CSV(建築業協会フォーマット)形式 保存/読み込みを使えば、他社との見積書の受け渡しも簡単に行えます。

## 材料調書

見積書内の材料の集計印刷が行えますので、材料の把握・注文が簡単に行えます。特に同一の材料が複数の内訳に散らばっている場合などに便利な機能です。材料のみならず労務等も集計が可能です。

## 1.2. MtWinProの仕様

階層	7階層
見積書件数	無制限
見積書明細行数	15000行
数量	8桁(小数点桁数0～3桁まで設定可能)
単価	9桁(小数点桁数0～3桁まで設定可能)
金額	10桁(100億未満)
部材・項目マスター	無制限(1ファイル15000項目まで)
歩掛り	100種類
業者マスター	1500件
顧客マスター	1000件
見積書	B5横、A4縦、A4横 自由レイアウト 実行予算書、注文書、請求書も作成可能
見積書レイアウトファイル	無制限

### [環境設定]

共有フォルダ	部材・項目マスター、見積書レイアウトファイルを複数のコンピュータで共有可能
端数処理方式	四捨五入、切り上げ、切り捨て
端数処理単位	1円、10円、100円、1000円単位の選択可能
フォントサイズ	6～14の間で設定可能
歩掛り	材料歩掛り、労務歩掛り合わせて100種類まで登録可能。労務歩掛りには単価を設定可能

**[編集機能]**

<b>明細行内容</b>	名称、仕様、単位、実行数量、実行単価、実行金額、原価率、基準見積数量、基準見積単価、基準見積金額、調整率、提出見積数量、提出見積単価、提出見積金額、摘要、資材コード、GkWin工種、業者コード、行属性、4要素(材料・労務・外注・経費)数量/単価/金額
<b>工事情報内容</b>	見積書 No、提出日、顧客名(2行)、敬称、工事名、施工場所、工期、見積有効期限、支払条件、摘要(3行)、担当者、消費税率、見積書分類
<b>行属性</b>	通常データ行、小計行、合計行、経費、歩掛り行、コメント行、値引き行、消費税行・経費行は率を設定し、金額は自動計算 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩掛り行は任意の歩掛りの集計行として設定可能。金額は自動計算</li> <li>・コメント行は金額に関係のない文字列のみを入力する場合に使用</li> <li>・消費税行は消費税を見積書に含める場合に使用し、見積書に設定されている消費税率で自動計算</li> </ul>
<b>入力画面</b>	実行予算、基準見積、提出見積、業者、4要素別実行予算、歩掛り、摘要/コード、GkWin工種、階層表示
<b>見積書保存</b>	上書き保存、名前を付けて保存
<b>カット、コピー、ペースト</b>	同一見積書内、異なる見積書間及び表計算との間で自由に切り取り・コピー・貼り付けが可能
<b>数量クリア機能</b>	全体または選択部分に対し可能
<b>単価クリア機能</b>	全体または選択部分に対し可能
<b>検索機能</b>	全体から文字列を検索
<b>空白行挿入</b>	ワンタッチ
<b>行の移動</b>	1行上、1行下への移動がワンタッチ
<b>優先モード</b>	実行予算優先(実行予算→基準見積を計算) 基準見積優先(基準見積→実行予算を計算)
<b>カーソル移動方向</b>	横、縦に設定可能
<b>業者集計</b>	各明細行に業者を設定し、業者別集計・印刷が可能
<b>代価表</b>	内訳を代価表に設定可能。当量の設定も可能
<b>電卓</b>	数字入力位置での自動ポップアップ機能
<b>金額調整</b>	調整率による計算、目標金額へ調整が見積書全体および内訳を持つ任意の項目に対し可能
<b>部材・項目マスター</b>	見積書入力中に部材・項目マスターファイルを自由に切り替え可能

**[マスター]**

<b>業者マスター</b>	業者分類入力で使用
<b>単位</b>	明細行の単位入力時に使用

<b>顧客</b>	工事情報の設定時に使用
<b>敬称</b>	工事情報の設定時に使用
<b>担当者</b>	工事情報の設定時に使用
<b>見積書分類</b>	工事情報の設定時に使用

#### [グラフ機能]

<b>構成比グラフ</b>	金額構成比円グラフ
<b>予算/見積比較グラフ</b>	実行予算金額/基準見積金額/提出見積金額比較棒グラフ+原価率折れ線グラフ
<b>利益金額グラフ</b>	利益金額棒グラフ+利益率折れ線グラフ

#### [印刷帳票]

<b>見積書一覧表</b>	見積書の一覧を印刷
<b>材料調書</b>	見積書内の材料を集計印刷
<b>詳細報告書</b>	実行予算、基準見積、提出見積の内容を比較形式で印刷
<b>4要素別実行予算書 総括書</b>	4要素別実行予算の工種合計を集計印刷
<b>4要素別実行予算書 内訳書</b>	4要素別実行予算の内訳を印刷
<b>4要素別実行予算書 リスト</b>	4要素別実行予算の内容をリスト形式で印刷
<b>業者集計表 総括書</b>	見積書内の業者毎の合計を集計印刷
<b>業者集計表 内訳書</b>	見積書内の業者毎の明細を集計印刷

#### [見積書印刷時設定]

<b>見積書レイアウトファイル</b>	使用する見積書レイアウトファイルを指定。用紙のサイズや見積書・実行予算書・注文書・請求書の区分はレイアウトファイル内で設定を行う
<b>印刷ページ種別</b>	表紙、総括書(最上位階層)、総括書明細(第2階層)、内訳書(第3階層以下)、代価表印刷の有無の指定が可能
<b>数量の0のスキップ</b>	印刷時に数量0の明細行を見積書からの除外指定が可能
<b>同じ単位で"の使用</b>	同じ単位が連続する場合に記号"使用の指定が可能
<b>マイナス記号の使用</b>	金額がマイナスの場合に記号△使用の指定が可能
<b>ページの節約</b>	行数の少ない複数の内訳を1ページにまとめる指定が可能
<b>数量の省略</b>	数量欄を空欄にする指定が可能
<b>単価の省略</b>	単価欄を空欄にする指定が可能
<b>金額の省略</b>	金額欄を空欄にする指定が可能
<b>行番号の指定</b>	階層毎にローマ数字(I II..)、アルファベット、数字、(無し) から選択が可能

<b>集計レベル</b>	何階層まで印刷対象とするかを指定可能
<b>印刷部数</b>	印刷部数を指定可能
<b>ページ指定</b>	印刷するページ範囲を指定可能

#### [見積書レイアウト]

<b>種類</b>	見積書、実行予算書、注文書、請求書が作成可能
<b>用紙</b>	B5横、A4縦、A4横
<b>フォント</b>	Windowsにインストールされている日本語TrueTypeフォントが全て使用可。 サイズ指定、太字、イタリック、下線、左寄せ、中央寄せ、右寄せの指定可
<b>印刷位置の指定</b>	0.1mm単位で指定可
<b>ドロー機能</b>	直線、矩形、丸角矩形が描画可能。線の色、種類(実線、鎖線など)、太さ指定可。 矩形、丸角矩形は塗りつぶし色の指定可
<b>絵の貼り付け</b>	ビットマップ、メタファイルが貼り付け可能
<b>配置可能な工事情報</b>	見積書 No、提出日、顧客名(2行)、敬称、工事名、施工場所、工期、見積有効期限、支払条件、摘要(3行)、担当者、提出合計、提出消費税、提出合計+消費税、実行合計、実行消費税、実行合計+消費税、利益合計、合計利益率
<b>配置可能な明細行内容</b>	名称、仕様、単位、実行数量、実行単価、実行金額、見積数量、見積単価、見積金額、摘要、行番号、利益金額、利益率、実行予算構成比、提出見積構成比

#### [データ受け渡し]

<b>テキストデータ</b>	クリップボードを使い表計算、エディタなどとの間でコピー/貼り付けが可能(簡易テキスト形式)
<b>BCS、CSV形式ファイル</b>	ファイルの保存および読み込みが可能(BCS、CSVは(社)建築業協会が推進している見積書データフォーマットです)
<b>単価データ読み込み</b>	(財)経済調査会、(財)建設物価調査会の単価フロッピーの読み込みが可能((財)経済調査会の名称無し単価フロッピーは除きます)
<b>原価管理システム</b>	弊社製工事原価管理システムGkWinへ実行予算・業者発注データを転送可能

#### [MtWinエクスプローラー]

<b>見積書一覧表示</b>	工事名称順、顧客名称順、見積 No 順、分類順、提出日順、担当者順、金額順の並び替えが可能
----------------	---

**見積書ファイル管理** ウィンドウズエクスプローラーと全く同様のファイル操作で見積書ファイルのカット、コピー、ペースト、削除、移動等が可能(ドラッグアンドドロップも可能)

**見積書一覧表** 見積書の内容を一覧できる形式で印刷

**[動作環境]** Microsoft Windows95/98, WindowsNT が動作する機種。必要メモリ32MB 以上。  
ハードディスク 20MB 以上。ディスプレイ解像度800×600以上推奨。CD-ROMドライブ。



## 2. クイックツアー

まずは細かいことは抜きにして、MtWinProを実際に動かしてみましょう。

### 2.1. 起動

起動 [スタートメニュー] [MtWinPro] [MtWinPro]で起動します。

### 2.2. 既存の見積書を開く

既存の見積書を開く(📁)で、山田邸新築工事を開きます。既存の見積書を開くにはMtWinエクスプローラー\*1という専用のツールを使います。

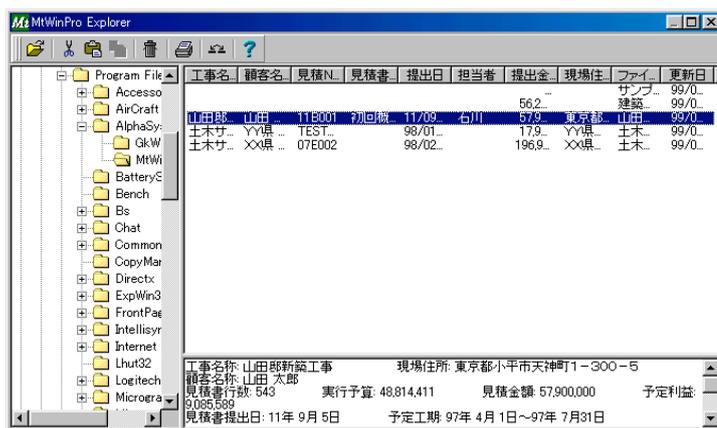


図 2-1 MtWinエクスプローラー

目的の物件を選択し、📁ボタンまたはダブルクリックで見積書が開けます。

\*1MtWinエクスプローラー: [15ページ]

## 2.3. 階層を移動する

実行予算額	基準見積額	No.	項目名称	調整率	見積数量	見積単価	提出見積額
37326451	46862759	1	建築工事	95	1		44358090
2577316	3177647	2	電気設備工事	95.03	1		3019924
2999404	3749256	3	給排水衛生設備工事	95	1		3567180
879240	1099050	4	空調設備工事	95	1		1043260
1612000	2015000	5	家具工事	95	1		1916000
544000	890000	6	ヒートポンプ工事	95	1		846000
176000	220000	7	ガス工事	95	1		209000
2700000	3375000	8	諸経費	95	1		3207000
0	-66454	9	値引				-66454
48814411	60912258	10	工事合計	95			57900000

図 2-2 最上位階層

F・1、Shift+[↓]、キーで下の階層へ移動します。この例ではカーソルが“建築工事”にあるので建築工事の内訳へ移動します。



実行予算額	基準見積額	No.	項目名称	調整率	見積数量	見積単価	提出見積額
1910000	2387500	1	共通仮設工事	95	1		2271500
1121396	1401745	2	面接仮設工事	95	1		1318155
892040	1240050	3	土工事	95	1		1172386
1268520	1585650	4	コンクリート工事	95	1		1506960
339480	424350	5	型枠工事	95	1		406290
414316	519745	6	鉄筋工事	95	1		494921
3633157	4544290	7	鉄骨工事	95	1		4315990
1306184	1632730	8	外壁工事	95	1		1561260
2183200	2729000	9	ガラスブロック工事	95	1		2594000
301280	376600	10	防水工事	95	1		358980
3090584	3863230	11	金属工事	95	1		3678060
949264	1186580	12	屋根工事	95	1		1137060
6068728	7585910	13	鋼製建具工事	95	1		7206820
348640	435800	14	木製建具工事	95	1		413800
2266478	2833099	15	硝子工事	95	1		2707103
1920000	2400000	16	木工事	95	1		2281000
2279320	2849150	17	石・タイル工事	95	1		2717950
321440	401800	18	左官工事	95	1		381135
203520	254400	19	吹付工事	95	1		239500
408984	511230	20	塗装工事	95	1		481400
2769840	3462300	21	内装工事	95	1		3264720
3230080	4037800	22	雑工事	95	1		3840100
37326451	46862759		利益金額				44358090

図 2-3 建築工事の内訳画面

この状態でF・1、Shift+[↓]、キーでさらに下の階層へ移動します。このようにして最大7階層までの内訳を持つことが可能です。

## 2.4. 入力画面を切り替える

MtWin では8種類の入力画面と1種類の表示画面を持っています。画面の切り替えはタスクバーの        ボタン、表示メニューで行えます。また **Shift + [←]**、**Shift + [→]** でも移動できます。

## 2.5. 現在の見積書をもとに新規の見積書を作成する

1. 現在開いている山田邸新築工事の最上位階層で、最上位階層の全データをドラッグ\*2して選択、 [編集][コピー]コマンドを実行する。(図 2-4)
2.  見積書の新規作成を実行し、その(空の)見積書で  [編集][貼り付け]コマンド、数量をそのまま貼り付けを実行し、山田邸新築工事の内容をすべて複写する。これで山田邸新築工事とまったく同じ見積書が作成できました。次はこの見積書の提出金額をいろいろと変えてみましょう。



実行予算額	基準見積額	No.	項目名称	調整率	見積数量	見積単価	提出見積額
37928461	48862759	1	建築工事	95	1		44958090
2577918	3177647	2	電気設備工事	95.09	1		3018924
2998404	3749258	3	給排水衛生設備工事	95	1		3567180
878240	1099050	4	空調設備工事	95	1		1043800
1612000	2015000	5	家具工事	95	1		1918000
544000	880000	6	外気取入れ工事	95	1		848000
1780000	2200000	7	ガス工事	95	1		2090000
2700000	3375000	8	雑費	95	1		3207000
0	68454	9	備付金				68454
48814411	60812258	10	工事合計	95			57900000

図 2-4

\*2 データの範囲を指定する:[42ページ]

## 2.6. 見積書の金額を変えてみる

見積書の金額を調整するには提出見積調整画面で行います。提出見積調整画面に切り替えます。

実行予定額	基準見積額	提出見積額	更新					
48,814,411	80,912,258	57,900,000	更新					
基準見積優先	実行予定額	基準見積額	No.	項目名称	調整率	見積数量	見積単価	提出見積額
	37328451	46882758	1	建築工事	95	1		4350090
	2577316	3177647	2	電気設備工事	95.03	1		3019824
	2999404	3749256	3	給排水衛生設備工事	95	1		3567180
	879240	1099050	4	空調設備工事	95	1		1043260
	1612000	2015000	5	家具工事	95	1		1916000
	544000	680000	6	ゼット外カー工事	95	1		646000
	178000	220000	7	ガス工事	95	1		209000
	2700000	3375000	8	諸経費	95	1		3207000
	0	-68454	9	値引き				-68454
	48814411	60912258	10	工事合計	95			57900000
	48814411	60912258		利益金額				9095689
				調整金額				-3012258
				提出見積				57900000

図 2-5

11行目“工事合計”行の提出見積金額を50,000,000に変えてみてください。見積書全体が50,000,000に近い金額に逆算されています。もちろん全ての下層の項目も同じ率に調整されています。提出見積金額を基準見積金額と同じに戻したい場合は“工事合計”の調整率\*3を100にします。

見積書全体ではなくて、例えば“建築工事”のみをある金額に調整したい場合は“建築工事”の提出見積金額欄に目標の金額を入力します。“建築工事”の下層の項目がその目標金額に近い額になるように調整されます。

下層を持っている項目の提出見積金額または調整率を変えると下層のデータ全てが変更されます。下層を持たない内訳行は直接、数量・単価を変えて提出見積金額を変更します。

このように簡単に思う金額の見積書が簡単に作成できます。もとに戻したい場合は11行目“工事合計”行の調整率を100にしてください。

関連項目 見積金額を自由自在に調整する: 45ページ

\*3 調整率: [21ページ]

## 2.7. 見積書の情報を設定する

 [設定][工事情報の設定]コマンドで、現在の見積書の情報を登録します。例として見積書、提出日、顧客名、敬称、工事名、施工場所、工期、見積書有効期限、担当者を適当に設定してみてください。



図 2-6

関連項目 工事情報の設定：47ページ

## 2.8. 見積書を印刷してみる

 [ファイル][見積書の印刷]コマンドで、現在の見積書の印刷を行います。

見積書レイアウトファイル\*4をどれかひとつ選び、 プレビューボタンを押します。選ばれている見積書レイアウトファイルの書式で先ほど [設定][工事情報の設定]コマンドで設定した内容が表紙に印刷されます。合計金額や内訳書は提出見積の内が印刷されてきているのが確認できます。



図 2-7

\*4 見積書レイアウトファイル：[17ページ]

## 2.9. 見積書を保存する

[ファイル][見積書に名前を付けて保存]コマンドで作成した見積書に名前をつけてを保存します。名前はご自分で判別しやすい名前なら何でも結構です。

## 2.10. 雛型を使い見積書を作成する

先ほど山田邸新築工事の内容を複製して新しい見積書を作成した手順を少し変えます。

1. 山田邸新築工事の最上位階層で、最上位階層の全データをドラッグして選択、[編集][コピー]コマンドを実行する。
2. 見積書の新規作成を実行し、その(空の)見積書で[編集][貼り付け]コマンド、数量をクリアして貼り付けを実行し、山田邸新築工事の内容をすべて複製する。
3. [設定][工事情報の設定]コマンドで基準見積優先に設定する。
4. [表示][基準見積入力画面]コマンドで基準見積入力画面に切り替える。
5. [設定][カーソル移動方向を↓に]をチェック
6. 建築工事—共通仮設工事の内訳画面(第3階層)へ移動このとき数量は0になっているはずですが。
7. 数量入力欄へ移り数量を入力していく。数量入力後のEnterで下の行の数量へ移動します。
8. 各内訳ごとに6, 7を繰り返します。

既存の見積書を雛型として使う手順は以上のとおりです。雛型を使うメリットは

- ・数量以外は一切入力する必要がない
- ・雛型の単価をそのまま使えるので、雛型の単価管理さえできていればよい。
- ・上記2点より、自社の見積書の一貫性が図れる、拾い数量を入力するだけなので熟練の担当者でなくとも見積書の作成ができる。

上記の手順では基準見積優先で行いましたが、もちろん実行予算優先でも行えます。詳しくは優先モード\*5の項目をお読みください。

\*5 優先モード:[20ページ]

## 3. MtWinProの基本的な知識

### 3.1. 見積書データファイルについて

MtWinでは物件毎に見積書データファイル(\*.mtDat)が分かれています。一般的なワープロの文書ファイルとまったく同様に扱えますので、LAN やフロッピーディスクによる見積書ファイルの受け渡しが簡単に行えます。見積書データファイルを探したり、管理するため便利なツールMtWinエクスプローラーが用意されています。また、他社との見積書のやり取りにはBCS、CSV\*6形式が活用できます。

#### 3.1.1. MtWinエクスプローラーで見積書データファイルを管理する

見積書データは1物件1ファイルになっています。Windowsでは通常エクスプローラーでファイルの管理を行います。MtWinProではWindowsエクスプローラーと同様のファイル管理が行え、見積書の内容が一目でわかるMtWinエクスプローラーが用意されています。右側に表示される情報は、工事情報の設定\*7で各見積書に登録した項目が表示されます。

見積書データファイルの切り取り、コピー、貼り付けなどの操作や、フォルダのオープン等の操作はWindowsエクスプローラーとまったく同様です。さらに見積書データファイルの内容によって自由に並び替えることが可能なので、目的の見積書をすばやく探すことが可能です。

ここをクリックすると、それぞれ工事名称、顧客名称、見積書 No、分類、提出日、担当者、提出金額順に並び変わります。

選択されている見積書を左側に表示されているフォルダへドラッグするとファイルがそのフォルダに移動またはコピーされます。

選択されている見積書の内容が表示されます。

工事名称	顧客名称	見積No	分類	提出日	担当者	提出金額
山田建設	山田建設株式会社	990101	決定	11/02/05	営業一部	59,200,000
マイストア東大和店新築工事	多摩総合建設株式会社	990911	決定	11/06/17	営業一部	85,334,550
(仮称)栄自動車ビル新築工事	(株)栄自動車	990905	決定	11/06/17	営業一部	124,045,650
マイストア東大和店新築工事(追加工事)	多摩総合建設株式会社	990825	決定	11/06/25	営業一部	6,982,500
武蔵野サンコート池上設備増設工事	武蔵野サンコート池上管理組合	990739	決定	11/06/01	営業一部	1,750,000
武蔵野サンコート化粧ビル増設工事	武蔵野サンコート池上管理組合	990735	決定	11/06/01	営業一部	933,600
マイストア東大和店新築工事(追加工事)I	多摩総合建設株式会社	990825	決定	11/06/25	営業一部	7,177,160
マイストア東大和店新築工事(追加工事)II	多摩総合建設株式会社	990825	決定	11/06/25	営業一部	6,817,620
(仮称)仲町フルームマンション新築工事	多摩総合建設株式会社	990739	決定	11/06/01	営業一部	153,678,130
藤田邸 外構工事	多摩総合建設株式会社	990735	決定	11/06/01	営業一部	569,700
マイストア東大和店新築工事②	多摩総合建設株式会社	990825	決定	11/06/25	営業一部	64,082,800
マイストア東大和店新築工事	多摩総合建設株式会社	990825	決定	11/06/25	営業一部	64,082,800
小平新築センター教室設置工事	多摩総合建設株式会社	990825	決定	11/06/25	営業一部	12,440,250
マイストア東大和店新築工事	多摩総合建設株式会社	990825	決定	11/06/25	営業一部	26,450,000
マイストア東大和店看板設置工事	多摩総合建設株式会社	990825	決定	11/06/25	営業一部	624,000
とぎわ荘解体工事	多摩総合建設株式会社	990825	決定	11/06/25	営業一部	1,029,400
(仮称)アルファシステム本社ビル新築工事	株式会社伊達設計事務所	990412	決定	11/02/13	営業一部	245,059,195
(仮称)アルファシステム本社ビル新築工事	株式会社伊達設計事務所	990412	決定	11/02/01	営業一部	273,043,226
(仮称)府中佐佐木ビル新築工事	佐田 新太郎	9903014	決定	11/02/15	営業一部	111,132,870
(仮称)かたやろトン(概算)	(株)かたやろ	990214	概算	11/02/14	営業一部	206,959,957
南塚事務所改修工事	株式会社南塚商事	990205	決定	11/02/10	営業一部	3,980,800
マイストア東大和店新築工事	多摩総合建設株式会社	9901191	決定	11/01/23	営業一部	72,010,550
マイストア東大和店新築工事(概算)	多摩総合建設株式会社	990119	概算	11/01/19	営業一部	63,349,260
多摩総合建設株式会社	多摩総合建設株式会社	990102	決定	11/01/10	営業一部	1,100,000
多摩総合建設株式会社	多摩総合建設株式会社	990215	決定	11/01/20	営業一部	17,900,000
事務所	事務所	991222	決定	10/03/09	営業一部	14,949,550
		981219	決定		営業一部	10,109,195
		981001	決定		営業一部	273,043,226
		990901	決定		営業一部	111,132,870
		990825	決定		営業一部	206,959,957
		990808	決定		営業一部	3,980,800
		980728	決定		営業一部	72,010,550
		990827	決定		営業一部	63,349,260
		990421	決定	10/10/30	営業一部	2,862,490
		980117	決定	10/08/22	営業一部	706,500

工事名称 (仮称)アルファシステム社員寮新築工事 現場住所 東京都小平市天神町1-300-5  
 顧客名称 株式会社アルファシステム  
 見積書行先 211 業行字番 89,900,050 見積金額 101,066,003  
 見積書提出日 11年 4月 6日 予定工期 11年 9月 1日~11年10月31日 予定利益 12,965,945  
 見積書時期  
 見積書内容  
 見積書内容に依りラック及び植工の場合は  
 植工も別棟申し受けます

図 3-1

\*6 BCS、CSV:[28ページ]

\*7 工事情報の設定:[47ページ]

**見積書を選択する:**

右側に表示されている見積書リストをクリックすることで選択されます。複数の見積書を選択するには[Ctrl]キーを押したままで各見積書をクリックします。連続した複数の見積書を選択するには[Shift]キーを押しながら最初のと最後の見積書をクリックします。

**見積書を並べ替える:**

右側の上部の工事名称、顧客名称、見積 No...と表示されている部分(カラムといいます)をクリックするとその項目順に見積書が並べ替わります。顧客名称をクリックすると顧客名称順に、見積 No をクリックすると見積 No 順に並べ替わります。逆順に並べ替えたい場合はもう一度同じカラムをクリックします。

**見積書を開く:**

見積書を選択し、 ボタンをクリックします。

**見積書を複写する:**

見積書を選択し、コピー  をクリックし、左側のフォルダツリーで複写先のドライブまたはフォルダを開き、ペースト  をクリックします。

**見積書を移動する:**

見積書を選択し、カット  をクリックし、左側のフォルダツリーで移動先のドライブまたはフォルダを開き、ペースト  をクリックします。

**見積書を削除する:**

見積書を選択し、削除  をクリックします。Windows のごみ箱に入るのでごみ箱を空にしない限り、元に戻せます。

**見積書一覧を印刷する:**

印刷したい見積書を選択し、一覧表の印刷  をクリックします。

**表示する内容の順番を並び替える**

表示する見積書の内容の順序を並び替えるには  をクリックします。移動したい表示内容を選択し、  ボタンで並び替えます。(図 2-2)

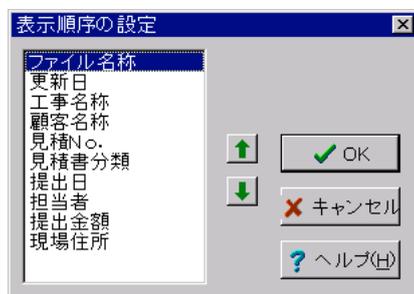


図 3-2

**表示する内容の幅を変える**

表示の幅を変えるには区切りの部分をドラッグします。(図 3-2)

ik	工事名称	顧客名	見積No.	見積書	提出日	担当者	提出金	現場住	ファイル
so							562...		...
ft	山田建設工事	山田	11E001	初回版	2009	石川	562...	東京都	山田
3y:	土木サンプル	YY県	TEST		06/26		562...	3648	土木
W	土木サンプル2	XX県	07E002						土木

図 3-3

ここをドラッグして表示幅を調整できます。

右側には各見積書の以下の内容が表示されます

**工事名称・顧客名称・見積No.・見積書分類・提出日・担当者・現場住所**

見積書の工事情報\*8に設定された内容です。

**提出金額**

提出見積金額の合計です。

**ファイル名称**

見積書ファイルの名称です。

**更新日**

見積書ファイルが保存された日付です。

## 3.2. 見積書レイアウトファイル

MtWinProでは見積書の内容(工事名称や見積の内訳明細など)の印刷形式(フォント、位置など)を自由に定義することができ、その印刷形式を定義してあるファイルを見積書レイアウトファイルと呼びます。見積書レイアウトファイルは自由度の高い設定やビットマップによるロゴの貼り付けなどが可能なので、御社のオリジナリティの高い見積書がデザインできます。また1種類のレイアウトを1つの見積書レイアウトファイルとして管理しますので用途などに応じ何種類でも任意に持つことが可能です。編集は専用のツールMtLayoutで行います。印刷実行時に使う見積書レイアウトファイルを選択し、その書式で印刷を行います。見積書レイアウトファイルの拡張子は mtLay です。

見積書のみでなく、実行予算書、請求書、注文書なども作成可能です。

※見積書レイアウトファイルはMtWin共有フォルダ\*9に置く必要があります。

関連項目 見積書レイアウトファイルの編集 :65ページ

\*8 工事情報の設定:[47ページ]

\*9 MtWin共有フォルダ:[50ページ]

### 3.3. 階層型見積

---

各データ行が下の階層を持つことが可能で、下の階層を持っている場合は下の階層の合計金額がその行の金額になります。下の階層を持たない場合、数量×単価がその行の金額になります。下の階層は最大 7 階層まで設定が可能です。Windows のデルタ構造と同様のイメージです。

### 3.4. 行属性

---

各明細データ行は以下の属性を持つことができます

#### 通常データ行

通常の見積項目のデータで、見積書の各項目行となる基本のデータ行です。

#### 小計行

同一内訳内で、以前の小計行または最初の行からその行直前までの金額の合計を自動計算し、表示します。同一階層内にいくつでも設定することが可能です。名称の変更は自由に行えますが、数量・単価・金額欄は入力できません。ブルーの文字で表示されます。

#### 合計行

同一内訳内で、最初の行からその行直前までの、金額の合計を自動計算し、表示します。名称の変更は自由に行えますが、数量・単価・金額欄は入力できません。ブルーの文字で表示されます。

#### 経費・歩掛り行

率による経費の自動計算行または歩掛りの集計に使用する行の設定です。形状欄に設定する文字によって経費行または歩掛り集計行に分かれます。同一内訳内で、以前の経費・歩掛り行または最初の行からその行直前までを集計し、表示します。同一階層内にいくつでも設定することが可能です。名称の変更は自由に行えますが、数量・単価・金額欄は入力できません。

#### コメント行

金額は入力せずに名称欄のみを使用する行です。数量・単価・金額欄は空欄になります。グリーンの文字で表示されます。

#### 値引き行

値引き金額の設定に使います。数量・単価は入力せずに、名称・金額欄のみ入力が行える行です。レッドの文字で表示されます。

#### 消費税行

見積書全体の合計金額から消費税を自動計算します。名称の変更は自由に行えますが、数量・単価・金額欄は入力できません。

### 3.4.1. 小計行の集計範囲

同一内訳内で、以前の小計行または最初の行からその行直前までの金額の合計を自動計算し、表示します。同一階層内にもいくつも設定することが可能です。名称の変更は自由に行えますが、数量・単価・金額欄は入力できません。ブルーの文字で表示されます。

実行予算額	基準見積額	提出見積額	調整率	見積数量	見積単価	提出見積額		
48,814,411	60,912,258	57,900,000						
37,926,451	46,662,759	44,358,090						
3,633,157	4,544,290	4,315,990						
実行予算額	基準見積額	No.	項目名称	調整率	見積数量	見積単価	提出見積額	
162021	204619	1	鋼材 口型鋼	95	3057	64	195648	
5760		2	鋼材	95	798	110	87780	
10		3	鋼材	95	3884	43	167012	
15		4	鋼材	95	256	65	16640	
15		5	鋼材	95	85	62	5270	
45684	57528	6	鋼材 C-型鋼	95	846	65	54990	
134904	166330	7	鋼材 PL-型鋼	95	1606	100	160600	
19600	24500	8	鋼材 ロス材	95	350	70	24500	
596885	748950	9	鋼材費小計				712440	
842560	1053200	10	工費	95	10532	95	1000540	
64000	80000	11	鉄骨施工費				76000	
908560	1133200	12	鉄骨加工費小計				1076540	
		13	デッキプレート工					
282808	353510	14	デッキプレート			220	338140	
96000	120000	15	デッキプレート	95	100	1100	110000	
279908	473510	18	デッキ小計				448140	
		17	副材費					
		18	H・T・B	95	460	220	101200	
		19	副材費小計				101200	
		20	鉄骨階段工事					
392000	490000	21	階段	95	2	233000	468000	
3633157	4544290		利益金額	682933	調整金額	-229300	提出見積	4315990

図 3-4

### 3.4.2. 経費・歩掛り行

率による経費の自動計算行または歩掛り\*10の集計に使用する行の設定です。形状欄に設定する文字によって以下の種類に分かれます。

**経費行:** 直前までの計に対する率で経費を自動計算します。指定形式は形状欄に経費率を直接指定します。例えば10%の経費率を設定したい場合、“0.1”または“10%”と指定します。同一内訳内で、以前の経費行または最初の行からその行直前までの金額の合計に経費率を自動計算し、表示します。同一階層内にもいくつも設定することが可能です。(小計行の集計ルールと同じですので任意の範囲の経費を集計することが可能です)

**歩掛り行:** 任意の歩掛りの集計行として指定します。指定形式は形状欄に“B\*\*\*”の形式です。\*\*\*の部分に歩掛り種類(1~100)が入ります。歩掛り1の集計行としたい場合、“B1”、歩掛り2は“B2”、歩掛り3は“B3”...歩掛り100は“B100”となります。同一内訳内で、以前の同一の歩掛り行または最初の行からその行直前までの間のデータ行に設定されている歩掛りを計算、集計し表示します。同一階層内にもいくつ

\*10 歩掛り:[22ページ]

でも設定することが可能です。(小計行の集計ルールと同じですので任意の範囲の歩掛りを集計することが可能です)

関連項目 歩掛り管理:22ページ

歩掛り入力画面:37ページ

実行予算額	基準見積額	No.	項目名称	調整率	見積数量	見積単価	提出見積額
46200	58520	1	管内配線 2V	100	154	380	58520
180190	224020	2	管内配線 2V	100	487	460	224020
10340	12980	3	管内配線 2V	100	22	590	12980
240714	267480	4	電気費	B1	13.37	20000	267480
9931	12406	5	雑材料・消耗品	B2	1	12406	12406
647460	804420	7	管内配線 2V	100	981	820	804420
1677510	1863900	8	電気費	B1	93.19	20000	1863900
58271	72398	9	雑材料・消耗品	B2	1	72398	72398
287062	331610	10	経費	10%	1	331610	331610

図 3-5

### 3.5. 優先モード

見積書作成時に実行予算を入力し利益をのせる方式(実行予算優先)か、見積金額を直接入力する方式(基準見積優先)のどちらの方式にも対応しています。この入力方式の種別を優先モードといいます。見積書入力途中でも優先モードは切り替えることが可能です。

**実行予算優先の場合**、実行予算の単価を変更すると原価率\*<sup>11</sup>によって基準見積単価が連動して変更されます。実行予算から見積書を作成するモードです。

**基準見積優先の場合**、基準見積の単価を変更すると原価率によって実行予算単価が連動して変更されます。見積金額を直接入力し見積書を作成するモードです。

\*<sup>11</sup> 原価率:[21ページ]

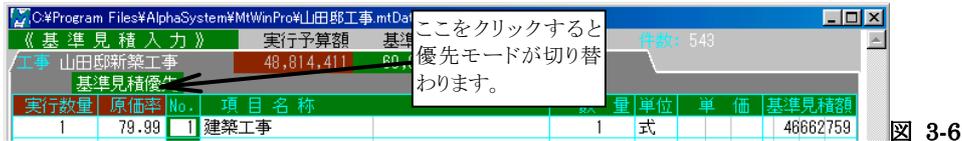


図 3-6

### 3.6. 原価率

原価率は、実行予算と基準見積の単価の比率です。原価率 80%、実行予算単価 8,000 円の場合、基準見積単価は 10,000 円になります

**関連項目** 実行予算入力画面:32ページ  
基準見積入力画面:33ページ

### 3.7. 調整率

調整率は、基準見積と提出見積の単価の比率です。調整率 95%、基準見積単価 95,000 円の場合、提出見積単価は 100,000 円になります。

**関連項目** 提出見積入力画面:34ページ  
見積金額を自由自在に調整する:45ページ

### 3.8. 代価表

土木工事で一般的な一位代価表を作成する機能です。

代価表はある数量(当量)あたりの工事を実施するために必要な項目を記述し、それから単位あたり(1メートルあたり、1平方メートルあたりなどの)単価を計算します。ここで求められた単位あたり単価が親項目の単価になります。現在表示中の内訳を代価表に設定したい場合は [設定]メニュー[代価表に設定] コマンドで行います。当量の変更は [設定]メニュー[代価数量の設定] コマンドまたは、見積入力画面中の代価数量の表示位置を直接クリックによって行えます。



図 3-7

### 3.9. 部材コード

見積書の各所に散らばった部材を集計するために、各明細行に部材コードを設定することができます。材料調書\*12では各明細行に設定された部材をもとに集計を行います。特に部材・項目マスターの場合は全ての階層のデータに部材コードを設定することをお勧めします。

関連項目 摘要／部材コード入力画面 :38ページ

### 3.10. 歩掛り管理

100個までの歩掛り項目を登録することが出来ます。登録はシステム情報／歩掛り設定で行います。歩掛りには以下の2種類があります。

#### A. 労務歩掛りを設定する場合

労務歩掛りは、単位あたりの施工に必要な人工数を設定し、計算を行うタイプの歩掛りです。電気工事では電工費、配管工事では配管工などが該当します。システム情報／歩掛り設定で、労務費名称を登録し、予算単価・見積単価には1人工の単価(以下の例では20000円)を設定することにより、歩掛りの計算時に労務歩掛りとして計算されます。

名称	数量	単価	金額	労務歩掛り
電線工事1	10 m	100	1000	0.01(mあたり0.01人工)
電線工事2	15 m	110	1650	0.02(mあたり0.02人工)

と入力した場合、以下のような歩掛り集計行が生成されます。

労務費	0.4人工	20000	8000	
労務費	0.4人工	単価	20000	金額 8000

数量(人工)の計算式は、 $(10 \times 0.01) + (15 \times 0.02) = 0.4$

単価はシステム情報／歩掛り設定で登録された単価が設定されます。

#### B. 材料歩掛りを設定する場合

材料歩掛りは、単位あたりの施工に必要な雑材料等の計算を行うタイプの歩掛りです。電気工事では支持材料、配管工事では継手・接合材などが該当します。システム情報／歩掛り設定で、雑材料費名称を登録し、予算単価・見積単価には0を設定しておくことにより、歩掛りの計算時に雑材料歩掛りとして計算されません。

\*12 材料調書 :[58ページ]

名称	数量	単価	金額	雑材料費歩掛り
電線工事1	10 m	100	1000	0.2(金額の20%の雑材料)
電線工事2	15 m	110	1650	0.3(金額の30%の雑材料)

と入力した場合、以下のような歩掛り集計行が生成されます。

雑材料費	1式	単価	695	金額	695
------	----	----	-----	----	-----

単価の計算式は、 $(1000 \times 0.2) + (1650 \times 0.3) = 695$

システム情報／歩掛り設定で、予算単価・見積単価に金額が設定されているか、いないかで集計方法を分けています。

note:

歩掛り集計行はその内訳書のいちばん最後に自動生成されますが、歩掛り集計行のコピーや、行属性\*13を歩掛り行\*14に設定することにより、内訳書の途中で小計をとるように配置することも可能です。

**関連項目** 歩掛り入力画面 :37ページ

システム情報／歩掛り設定 :53ページ

### 3.11. 業者管理

材料を仕入れる業者や、工事を依頼する業者を登録しておき、見積書の各明細行に業者を設定することができます。見積書中から特定の業者のみを抽出・集計し注文書を発行することができます。注文書は見積書レイアウト\*15で作成します。

#### GkWinと連動していない場合

MtWinProで登録した業者マスター\*16が使用されます。

#### GkWinと連動している場合

GkWinへ転送する発注データとして必要なため、GkWinで登録された業者が使用されます。

**関連項目** 実行予算／業者入力画面 :35ページ

### 3.12. 工事原価管理システムGkWinとの連動

弊社製工事原価管理システムGkWinへ工事の実行予算、発注情報を渡すことができます。GkWinは予算

\*13 行属性:[18ページ]

\*14 歩掛り行:[19ページ]

\*15 見積書レイアウトファイル:[17ページ]

管理、発注管理、業者別支払い管理、工事の原価把握が非常に簡単に効率よく行えるシステムです。GkWinとの連動はシステム情報/基本設定でGkWinのフォルダを指定することによって行えます(ネットワークで繋がっている必要があります)。

GkWinと連動を行っている場合、業者マスターはGkWinで登録されているものが使用されます。

**関連項目** GkWin工種入力画面：39ページ  
GkWinへのデータ受け渡し：29ページ  
GkWinと連携する：50ページ

### 3.13. 4要素別実行予算

1行の明細行の実行予算を材料・労務・外注・経費の4要素に分解し組むことが可能です。4要素別実行予算書で要素毎の金額を把握することが可能なのでより正確な実行予算を作成できます。

**関連項目** 実行予算(4要素)入力画面：36ページ  
4要素別実行予算総括書：60ページ  
4要素別実行予算内訳書：61ページ  
4要素別実行予算リスト：62ページ

### 3.14. セットアップパスワード

本システムの正式使用にはセットアップ後、セットアップパスワードの入力をする必要があります。セットアップパスワードはご購入頂いた場合にお教えできます。セットアップパスワードの入力によりそのコンピュータにライセンスが設定されます。

セットアップパスワード未入力の状態ですと、起動時にセットアップパスワードの入力を促すウィンドウが表示されます。パスワードのお問い合わせには問い合わせコードが必要となりますので、ご確認の上、お問い合わせください。

セットアップパスワード未入力の状態では、起動回数制限(30回)がありますので、なるべくお早めにお問い合わせください。

本ソフトウェアの使用は、1ライセンスにつき、コンピュータ1台になっています。

新しいコンピュータへシステムを移動するには

---

\*16 業者マスター：[26ページ]

既に使用しているコンピュータから、新たなコンピュータへライセンスを移動する場合、フロッピーディスクを介してライセンスの受け渡しを行います。

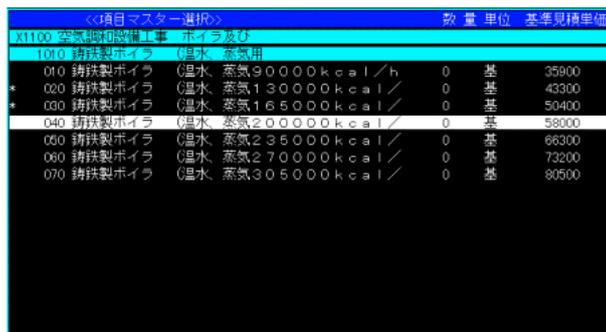
新しいコンピュータをA、古いコンピュータをBとして説明します。

1. Bで [その他]メニュー[ライセンスのFDへの保存]コマンド を実行する。Bのライセンスは無効になる。
2. Aで [その他]メニュー[ライセンスFDの読み込み]コマンド を実行する。Aにライセンスが設定される。

## 3.15. マスター

### 3.15.1. 部材・項目マスター

部材や見積項目をマスターとして持つことができます。必要に応じて、用途別・分類別に任意の名称で部材・項目マスターファイルをいくつでも持つことが可能です。同時に複数の部材・項目マスターファイルを開くことはできませんが、見積書入力中でも簡単に部材・項目マスターファイルを切り替えることが可能です。1ファイルのデータ件数は15000件までの制限があります。部材・項目マスターは見積書入力画面においてEnd(PC98ではHELP)キーまたは  ボタンで簡単に呼び出すことができます(編集画面は見積書データファイルと全く同じです)。本ソフトでは部材・項目マスターと呼び、管理しています。



項目ID	名称	説明	数量	単位	標準見積単価
X1100	空気配管設備工事	ボイラ及び			
010	鑄鉄製ボイラ	(温水、蒸気用)			
010	鑄鉄製ボイラ	(温水、蒸気900000kcal/h)	0	基	35800
* 020	鑄鉄製ボイラ	(温水、蒸気1300000kcal/h)	0	基	43300
* 030	鑄鉄製ボイラ	(温水、蒸気1650000kcal/h)	0	基	50400
040	鑄鉄製ボイラ	(温水、蒸気2000000kcal/h)	0	基	58000
050	鑄鉄製ボイラ	(温水、蒸気2350000kcal/h)	0	基	66300
060	鑄鉄製ボイラ	(温水、蒸気2700000kcal/h)	0	基	73200
070	鑄鉄製ボイラ	(温水、蒸気3050000kcal/h)	0	基	80500

図 3-8

部材・項目マスターファイルは拡張子が `mtItm` であることを除けば、見積書データファイルとまったく同一のものであります。そのために、通常の見積書と全く同一の操作で編集が行え、見積書明細行の内容と完全に一致する情報を持つようになっています。

部材・項目マスターファイルを増やしたい場合は

- 方法1. MtWin で部材・項目マスターを編集し、保存時に名称を別名(新規の名称)で保存する。
- 方法2. エクスプローラー等で、既存の部材・項目マスターファイルを違う名称で複写する。(拡張子は `mtItm` である必要があります)
- 方法3. 見積書データ(\*.mtDat)を拡張子を `mtItm` で保存する。([ファイル]名前を付けて保存コマ

ンドでファイルの種類を“MtWin 部材・項目マスターファイル”に設定して保存する)

等の方法があります。

部材・項目マスターファイル(拡張子がmtItm)はMtWin共有フォルダ\*17に置く必要があります。それ以外のフォルダに置いていてもMtWinでは認識しません。

部材・項目マスターファイル選択リストボックス(図 3-9)

このリストの中から使いたい項目マスターファイルを選択します。



図 3-9

**note: 下層に項目を持つ項目マスターを選択した場合、下層にある項目の扱い**

情報の登録／基本設定\*18 **項目マスター選択時、下層の項目を選択しない** チェックボックスで設定します。

### 3.15.2. 業者マスター

見積書の各明細行に設定する業者をマスターとして登録しておきます。

#### GkWinと連動していない場合

MtWinProで自由に業者マスターを登録できます。業者マスターの編集は[環境][業者マスターの編集]で行います。業者マスターはコード、名称がカンマ区切りのテキストファイルです。

#### GkWinと連動している場合

GkWinで登録された業者が自動的に使用され、MtWinProでは業者マスターを編集することは出来ません。

関連項目 業者管理: 23ページ

GkWinとの連動: 23ページ

### 3.15.3. 単位マスター

単位マスターは見積書入力時に単位の欄に設定する文字列を登録しておくマスターです。単位マスターの編集は[環境][単位マスターの編集]で行います。単位マスターはテキストファイルです。

\*17 MtWinPro共有フォルダ:[50ページ]

### 3. 15. 4. 顧客、敬称、担当者、見積書分類マスター

顧客、敬称、担当者、見積書分類マスターは工事情報の登録\*19時にそれぞれの欄に入力された文字列が自動的に履歴として保存されます。順番を入れ替えたい場合や不要な担当者を削除したい場合に編集が行えます。マスターはテキストファイルで保存されます。編集は[環境]メニューで行えます。

## 3. 16. 他システムとのデータ受け渡し

### 3. 16. 1. 簡易テキスト形式

簡易テキスト形式は、見積書のデータ、表計算の間でクリップボード経由で自由にコピー・貼り付けが行えるように、MtWinProが内容を定義しているテキスト形式です。簡易データ形式のコピー・貼り付けは[編集]メニューまたは右クリックでのポップアップメニューで行えます。

階層・項目名称・項目名称2・数量・単位・実行予算単価・基準見積単価・データ行属性・代価数量・提出見積単価・見積書形式行番号・行番号 の各データが TAB コードで区切られて格納されています。

<b>階層</b>	データの階層を 1 から7の間の数値で設定します。省略不可です。
<b>項目名称</b>	項目名称です。
<b>項目名称2</b>	項目名称(規格・形式)です。
<b>数量</b>	基準見積数量です。省略できます。
<b>単位</b>	単位です。
<b>実行予算単価</b>	実行予算単価を設定します。省略できます。
<b>基準見積単価</b>	基準見積単価を設定します。省略できます。
<b>データ行属性</b>	データ行属性を0から6の数値で設定します。省略不可です。
<b>代価数量</b>	代価表の場合に代価表数量を設定します。省略または0を設定すると通常の内訳とみなします。
<b>見積書形式行番号</b>	見積書形式の階層別の行番号です。表計算などでの作業用の項目で、読み込み時は無視されます。
<b>行番号</b>	並び順番号です。表計算などでの作業用の項目で、読み込み時は無視されます。

階層別の並び順などに関しては、表計算などに貼り付けてご覧ください。

\*18 システム情報／基本設定 : [50ページ]

\*19 工事情報の設定: [47ページ]

### 3.16.2. BCS. CSV

BCS. CSVは(社)建築業協会で推進している、見積明細書のデータフォーマットです。BCS. CSV対応ソフトならば他社製のシステムとも受け渡しが可能なので、協力業者や施主との見積データのやりとりに活用できます。

MtWinProでは深く複雑な階層構造であってもBCS. CSV形式でデータのやり取りが行えますが、MtWinPro及びBCS. CSVの仕様上、以下の制限があります。

#### \*\*\*保存時の制限\*\*\*

代価表:

代価数量(当量)が1以外の代価表及び代価表の中の代価表はBCS. CSVが禁止しているために渡せませんので無視されます。代価表が渡せない場合でも代価表で作成された単価は渡されますので、金額が狂うことはありません。

単価の小数点:

BCS. CSVは仕様上、単価の小数点は不可になっています。小数点のある単価を渡した場合、誤差が発生する可能性があります。MtWinProではシステム情報/端数設定で単価の小数点が設定されていれば小数点付きの単価をBCS. CSVに書きこみます。

### 3.16.3. 単価FDの読み込み

(財)経済調査会、(財)建設物価調査会の単価データFDを現在の見積書内に読み込みます。このコマンドを実行すると現在の見積書に単価データが読み込まれます。部材・項目マスター<sup>\*20</sup>として保存したい場合は、読み込んだ見積書を保存時に部材・項目マスターとして保存します。

次のFDが読み込めます

#### (財)経済調査会 MS-DOS フォーマット 固定長及び可変長

名称付単価FD(カナ)  
名称付単価FD(日本語)  
施工単価資料FD

#### (財)建設物価調査会 MS-DOS フォーマット 固定長及びCSV

標準品(漢字名称付き)

### 3.16.4. GkWinへのデータ受け渡し

弊社製工事原価管理システムGkWinへ工事の実行予算、発注情報を渡すことができます。GkWinは予算管理、発注管理、業者別支払い管理、工事の原価把握が非常に簡単に効率よく行えるシステムです。Gk

<sup>\*20</sup> 部材・項目マスター:[25ページ]

Winとの連動はシステム情報基本設定\*<sup>21</sup>でGkWinのフォルダを指定することによって行えます(ネットワークで繋がっている必要があります)。

GkWinへデータを転送するために必要な作業

**1. 工事情報を設定する(工事情報の設定\*<sup>22</sup>)**

GkWinの工事マスターへ工事情報が転送されます。

**2. 各明細行にGkWin工種を設定する(GkWin工種入力画面\*<sup>23</sup>)**

MtWinの各明細行をGkWinへ転送できるようにGkWinの工種・内訳マスターに割り振ります。

**3. 各明細行に発注業者を設定する(実行予算/業者入力画面\*<sup>24</sup>)**

業者が割り振られている明細行はGkWinへ発注データとして転送されます。

**4. GkWinへデータを転送する(GkWin転送データの作成)**

[ツール][GkWin転送データの作成]コマンドで、GkWinへデータが転送されます。

---

\*<sup>21</sup> システム情報/基本設定:[50ページ]

\*<sup>22</sup> 工事情報の設定:[47ページ]

\*<sup>23</sup> GkWin工種入力画面:[39ページ]

\*<sup>24</sup> 実行予算/業者入力画面:[35ページ]



## 4. 入力画面

MtWin では8種類の入力画面と1種類の表示画面を持っています。画面の切り替えはタスクバーの  ボタン、表示メニューで行えます。また **Shift + [←]**、**Shift + [→]** でも移動できます。

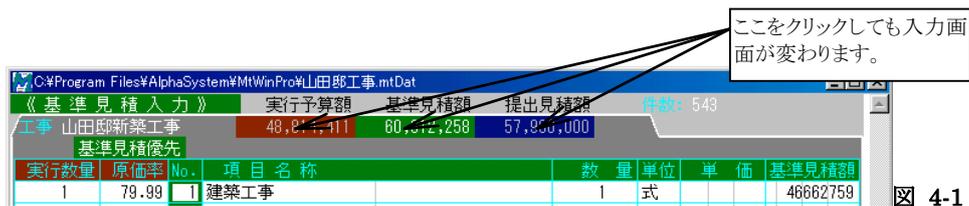


図 4-1

MtWinには次の入力画面があります

- 実行予算入力画面
- 基準見積入力画面
- 提出見積入力画面
- 実行予算/業者入力画面
- 実行予算書(4要素)
- 歩掛り入力画面
- 摘要/部材コード入力画面
- GkWin工種入力画面

## 4.1. 実行予算入力画面

実行予算を数量×単価で入力する画面です。優先モード\*25が実行予算優先の場合、単価を変更すると基準見積単価を原価率に基づいて変更します。たとえば原価率80%の場合、実行予算単価を80,000にすると基準見積単価は100,000になります。数量は影響を受けません。画面の右側に基準見積数量の欄があり、通常の矢印キーではこの欄には入れませんが、マウスで該当の欄をクリックすることにより入力・変更が可能になります。

No.	項目名称	実行数量	単位	実行単価	実行予算額	原価率	基準数量
1	建築工事	1	式		37328451	79.99	1
2	電気設備工事	1	式		2577316	81.10	1
3	給排水衛生設備工事	1	式		2999404	79.99	1
4	空調設備工事	1	式		879240	80	1
5	家具工事	1	式		1612000	80	1
6	ビオトープ工事	1	式		544000	80	1
7	ガス工事	1	式		178000	80	1
8	諸経費	1	式		2700000	80	1
9	備引込				0		
10	工事合計				48814411	80	

利益金額 | 9085589 | 実行予算合計 | 48814411

項目名を入力してください。(マスター:End)

1 ↓ 階層 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 削除 | 8 行属性 | 9 | 0

4-2

\*25 優先モード:[20ページ]

## 4.2. 基準見積入力画面

基準見積を数量×単価で入力する画面です。優先モード\*26が基準見積優先の場合、単価を変更すると実行予算単価を原価率に基づいて変更します。たとえば原価率80%の場合、基準見積単価を100,000にすると実行予算単価は80,000になります。数量は影響を受けません。画面の左側に実行予算の数量および原価率の欄があり、通常の矢印キーではこの2つの欄には入れませんが、マウスで該当の欄をクリックすることにより入力・変更が可能になります。

実行数量	原価率	No.	項目名称	数量	単位	単価	基準見積額
1	79.99	1	建築工事	1	式		46662759
1	81.10	2	電気設備工事	1	式		3177647
1	79.99	3	給排水衛生設備工事	1	式		3749256
1	80	4	空調設備工事	1	式		1099050
1	80	5	家具工事	1	式		2015000
1	80	6	ビト列外ナ-工事	1	式		880000
1	80	7	ガス工事	1	式		220000
1	80	8	諸経費	1	式		3375000
		9	値引き				-66454
80		10	工事合計				60912258

図 4-3

\*26 優先モード:[20ページ]

### 4.3. 提出見積入力画面

提出見積金額を検討・調整する画面です。この画面で入力された金額が見積書に印刷されます。下位データを持たない行は数量、単価を直接変更して見積金額を調整できます。下位のデータを持っている行や、見積書全体を調整したい場合は見積金額を自由自在に調整するを参照してください。

画面の左側には、実行予算金額、基準見積金額が常に表示され、画面下部には予定利益金額(提出見積金額－実行予算金額)、調整金額(基準見積金額－提出見積金額)が表示されますので、常に利益等を確認しながら見積書を作成できます。

関連項目 見積金額を自由自在に調整する：45ページ

実行予算額	基準見積額	No.	項目名称	調整率	見積数量	見積単価	提出見積額
48,814,411	60,912,258	1	建築工事	95	1		44358090
		2	電気設備工事	95.03	1		3019824
		3	給排水衛生設備工事	95	1		3567180
		4	空調設備工事	95	1		1043260
		5	家具工事	95	1		1918000
		6	ビオトープ工事	95	1		648000
		7	ガス工事	95	1		209000
		8	諸経費	95	1		3207000
0	+68,454	9	備付け				+68,454
48814411	60912258	10	工事合計	95			57900000

48814411 60912258 利益金額 9085689 調整金額 -3012258 提出見積 57900000

項目名を入力してください。(マスター:End)

4-4

## 4.4. 実行予算/業者入力画面

実行予算および、業者\*<sup>27</sup>を各明細行に設定する画面です。明細行毎に材料の仕入先や工事の依頼先を登録することにより、業者毎の集計を行い注文書などの発行を行うことができます。またGkWinと連動\*<sup>28</sup>している場合は、ここで登録されたデータが発注データとしてGkWinに渡されます。

No.	項目名称	数量	単位	単価	実行予算額	業者名称
1	建築工事	1	式		37328451	
2	電気設備工事	1	式		2577316	
3	給排水衛生設備工事	1	式		2999404	
4	空調設備工事	1	式		879240	
5	家具工事	1	式		1612000	
6	ビオトープ工事	1	式		544000	
7	ガス工事	1	式		176000	
8	諸経費	1	式		2700000	
9	値引				0	
10	工事合計				48814411	

実行予算合計 | 48814411

項目名を入力してください。(マスター:End)

1 | 階層 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 削除 | 8 行属性 | 9 | 0

図 4-5

\*<sup>27</sup> 業者管理:[23ページ]

\*<sup>28</sup> GkWinとの連動:[23ページ]

## 4.5. 実行予算(4要素)入力画面

材料・労務・外注・経費別の実行予算を入力する画面です。

各行の下端左から、A)実行予算数量、B)実行予算単価、C)材料単価、D)労務単価、E)外注単価、F)経費単価を入力します。

通常の実行予算は A)実行予算数量×B)実行予算単価で設定されます。その B)実行予算単価を材料・労務・外注・経費の4要素別に分解し、実行予算を編成できる機能です。

一般的には B)実行予算単価 = C)材料単価+D)労務単価+E)外注単価+F)経費単価 になり、実行予算金額は以下のルールで計算されます。

実行予算金額 = A)実行予算数量×C)材料単価+A)実行予算数量×D)労務単価+A)実行予算数量×E)外注単価+A)実行予算数量×F)経費単価 になります。

それ以外に A)実行予算数量とは関係なく C),D),E),F)の単価を設定したい場合(数量とは関係なく一式で金額を設定したい場合など)は C),D),E),F) 欄に数量\*単価の形式で入力します。

例 1\*2500 と入力した場合は A)実行予算数量とは関係なく1×2500として計算されます。

ここで入力された4要素別実行予算は[ファイル]メニュー[データ印刷]コマンド 実行予算書(4要素) で印刷されます。

No.	項目名称	数量	単価	材料費 単価/金額	労務費 単価/金額	外注費 単価/金額	経費 単価/金額	実行合計
1	建築工事	1		16552413	8554531	9708120	2599796	37328451
2	電気設備工事	1		0	0	2424180	0	2577316
3	給排水衛生設備工事	1		0	0	2414064	0	2993404
4	空調設備工事	1		0	0	784440	0	879240
5	家具工事	1		740500	801500	0	70000	1612000
6	ビオトープ工事	1		0	0	544000	0	544000
7	ガス工事	1		0	0	178000	0	178000
8	諸経費	1		0	0	0	2700000	2700000
9	値引き							0
10	工事合計							744867
	合計			17292913	9356031	16050804	5368796	48814411

図 4-6

- 関連項目 4要素別実行予算：24ページ  
 4要素別実行予算総括書：60ページ  
 4要素別実行予算内訳書：61ページ  
 4要素別実行予算リスト：62ページ

## 4.6. 歩掛り入力画面

各データ行の歩掛り\*<sup>29</sup>を入力する画面です。

各明細行ごとにn個までの歩掛り率を設定することにより、それぞれに応じた歩掛り計算が行われます。画面右側の“歩 1”から“歩 n”にはシステム情報／歩掛り設定\*<sup>30</sup>で登録された歩掛り名称が表示されます。

n個はシステム情報/基本設定\*<sup>31</sup>で設定された必要歩掛り数で、1～n個までの歩掛りが入力可能となります。

No.	項目名称	実行単価	基準単価	行属性	労務費	雑材費	歩 1	歩 2	歩 3	歩 4	歩 5
1	建築工事			デ-所行			1				
2	電気設備工事			デ-所行			1				
3	給排水衛生設備工事			デ-所行			1				
4	空調設備工事			デ-所行			1				
5	家具工事			デ-所行			1				
6	ビオトープ工事			デ-所行			1				
7	ガス工事			デ-所行			1				
8	諸経費			デ-所行			1				
9	値引込			値引行							
10	工事合計			合計行							

図 4-7

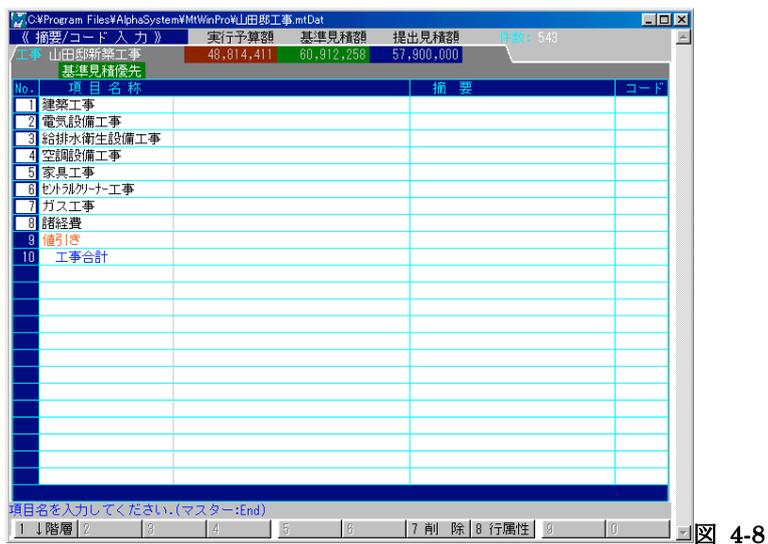
\*<sup>29</sup> 歩掛り管理: [22ページ]

\*<sup>30</sup> システム情報／歩掛り設定: [53ページ]

\*<sup>31</sup> システム情報／基本設定: [50ページ]

## 4.7. 摘要/部材コード入力画面

摘要文及び部材コード\*32を入力する画面です。



\*32 部材コード:[22ページ]

## 4.8. GkWin工種入力画面

GkWinへ転送\*33できるように、各明細行がGkWinのどの工種・内訳に対応するかを割り振る画面です。GkWin工種はGkWinで登録された工種・内訳が表示されます。GkWin工種を割り振らずに転送したデータはGkWinでどの工種に該当するかが判別できません。



図 4-9

\*33 GkWinとの連動:[23ページ]



## 5. 見積書編集

---

### 5.1. 基本的なキー操作

---

#### 称などの文字列

名称入力時は挿入モードになっています。カーソル上の文字を消去する場合は Delete キー、カーソルの手前の文字を消去する場合は BackSpace キーを使います。

#### 数量・単価などの数値

数値の一番後ろの位置にカーソルが固定になり、入力された数値が左に送られていきます。一文字消去する場合は Delete キー、一度に全部消去する場合は BackSpace キーを使用します。＋＊／キーを入力すると自動的に電卓が起動します。

#### 画面スクロール

画面のスクロールには PageUp, PageDown キーを使います。

#### 入力画面の一番下へ

入力画面の一番下へ移動する場合は Home キーを使用します。

### 5.2. MDI ウィンドウ形式

---

MtWinProはMDIウィンドウ形式と呼ばれる形式で、メインウィンドウの中に複数の見積書ウィンドウが開け、自由に対象の見積書を切り替えることが可能です。ウィンドウの切り替えは[ウィンドウ]メニューまたは直接見積書ウィンドウをクリックすることによって行えます。見積書間の複写なども見積書ウィンドウを切り替えることによって行えます。

### 5.3. 行を複写する

---

 [編集]メニュー[コピー]コマンドでカーソルのある行をコピーできます。コピーした行を複写するには、 [編集]メニュー[貼り付け]コマンドで複写されます。複数の行をコピーしたい場合はドラッグして範囲を選択してからコピーを行います。

## 5.4. 行を切り取る

 [編集]メニュー [切り取り] コマンドでカーソルのある行を切り取れます。切り取られた行はクリップボードに保存されますので、 [編集]メニュー [貼り付け] コマンドで複写することができます。複数の行を削除したい場合はドラッグして範囲を選択してから切り取りを行います。

## 5.5. 行の範囲を指定する

コピーや切り取りを一度に複数の行に対し、行いたい場合は、マウスで範囲をドラッグすることにより範囲の指定が行えます。選択された範囲のデータが黒く反転表示されますので、その状態で、コピーまたは削除を行います。



実行数量	原価率	No.	項目名称	数量	単位	単価	基準見積額
1	79.99	1	建築工事	1	式		46662759
1	81.10	2	電気設備工事	1	式		3177647
1	79.99	3	給排水衛生設備工事	1	式		3749258
1	80	4	空調設備工事	1	式		1099050
1	80	5	家具工事	1	式		2015000
1	80	6	外断熱工事	1	式		680000
1	80	7	ガス工事	1	式		220000
1	80	8	諸経費	1	式		3975000
		9	値引き				-66454
	80	10	工事合計				60912258

図 5-1

## 5.6. 上下の階層へ移る

F1キーまたは **Shift+ ↓** キーで下の階層(内訳)へ移動し、F2キーまたは **Shift+ ↑** キーで上の階層へ移動します。  ボタンでも移動できます。

※内訳を持てるのは通常データ行だけなので、通常データ行以外では下の階層へは移動できません。

## 5.7. 前後の内訳へ移る

F3キーで 次の内訳へ移動し、F4キーで 前の内訳へ移動します。  ボタンでも移動できます。

---

## 5.8. 空白行を挿入する

---

Shift+F5 キー または Ins キーでカーソルのある行に空白行を1行挿入します。また、右クリックによるポップアップメニューでも実行できます。

---

## 5.9. 行の属性を設定する

---

F8キーで行属性を設定・変更できます。また、右クリックによるポップアップメニューでも設定できます。

---

## 5.10. 行を上下に移動する

---

Shift+F3 キーでカーソルのある行を1行下へ移動し、Shift+F4 キーでカーソルのある行を1行上へ移動します。

---

## 5.11. 数量、単価を0にする

---

見積書中の数量や単価を0にするには、対象範囲をドラッグにより選択し、[編集][選択範囲の数量の0クリア]または[編集][選択範囲の単価の0クリア]を実行します。対象データが下階層を持っている場合下層のデータも数量または単価が0にクリアされます。

---

## 5.12. 簡易電卓

---

Shift+F8 キーで電卓が呼び出せます。また、数量・単価入力の位置で +、-、\*、/ キーを押すと自動的に電卓が起動されます。電卓は括弧付きの計算も行えます。

---

## 5.13. 部材・項目マスターを呼び出す

---

見積書入力画面で、End(PC98はHELP)キーまたは  ボタンにより部材・項目マスターの一覧が開きます。部材・項目マスターをスペースキーで選択し、Enter キーにより選択された部材・項目マスターが見積書に入ります。部材・項目マスターウィンドウ内での階層移動等は見積書の移動と同じキーが割り付けられてい

ます。下層に内訳データを持っている項目を選択した場合の動作については部材・項目マスター選択時、下層の項目を選択する／選択しないを設定するをご覧ください。

## 5.14. 部材・項目マスターの編集を行う

ボタンにより部材・項目マスターの編集を行うことができます。部材・項目マスターの編集は見積書の編集と全く同一の画面で行います。

## 5.15. 文字列を検索する

見積書内の任意の文字列を検索できます。該当行の表示は見積書階層表示形式で行われます。階層表示画面においてF2、F3キーまたはボタンで前後の一致行へスクロールします。

[ツール]メニュー[文字列検索]コマンド またはボタンで検索を開始します。

## 5.16. カーソル移動方向を変える

[設定]メニュー[カーソル移動方向を↓に] コマンド  ボタン

**Enter** 入力時のカーソル移動方向を設定します。通常は右の位置へ移動しますが、縦に移動させることができます。縦移動は数量のみを集中的に入力する場合などに便利な機能です。

## 5.17. 見積金額を自由自在に調整する

図 5-2

### 見積金額を任意の金額に自動調整する(図 4-2 の A,B)

見積書の部分または全体を任意の金額に調整する機能で、自分の下位データを持っている行または、最上位階層の合計行で有効な機能です。

提出見積金額調整画面で一番右の提出見積額を調整をしたい金額に変えることにより自動的に逆算されます。この金額が変更されると下位のデータの提出見積単価を変更し最も目標金額に近づくように計算されます。大項目ごと、中項目ごとなど自在に調整できます。(図 4-2 の A)

全体の金額を一気に調整する場合は、最上位階層の一番最後の行に合計行を設け、その提出見積額を目標金額に変更すると、見積書全体を目標金額に近づくように自動調整されます。(図 4-2 の B)

### 基準見積に対する率で調整する(図 4-2 の C,D)

基準見積に対し、任意の率で提出見積を調整する機能です。

提出見積金額調整画面で自分の下位のデータを持っている行の調整率を変えると下位のデータすべてが一律でその率に変更されます。大分類ごと、中分類ごとなど自在に調整できます。(図 4-2 の C)

全体の調整率を変更する場合は、最上位階層の一番最後の行に合計行を設け、その調整率を変更することにより、見積書全体の調整率が変わります。(図 4-2 の D)

提出金額をいくら調整しても基準見積は変わりませんので、どの項目をどう調整したかが一目瞭然で、非常

に簡単に説得力のある見積書を作成できます。一番最初の状態に戻すのも全体の調整率を 100%にするだけで簡単に行えます。

提出見積単価の調整時の端数処理には、以下のルールがあります。

### 提出金額調整時の端数処理

提出単価の調整時には、基準見積単価の桁にあわせて、提出見積単価を調整します。

例えば基準見積単価が 23,200 円の場合 100 円単位、57,000 円の場合 1000 円単位、457 円の場合 1 円単位に提出見積単価を調整します。要するに後ろのゼロの数を基準見積にあわせませす。この処理を行う桁数の下限を設定できます。設定はシステム情報／端数設定<sup>\*34</sup>で行います。

例

下限が 10,000 円の場合

基準見積単価	10,000	調整率	95%	提出見積単価	10,000
基準見積単価	12,350	調整率	95%	提出見積単価	11,730

下限が 1,000 円の場合

基準見積単価	10,000	調整率	95%	提出見積単価	9,000
基準見積単価	12,350	調整率	95%	提出見積単価	11,730

下限が 100 円の場合

基準見積単価	10,000	調整率	95%	提出見積単価	9,500
基準見積単価	12,350	調整率	95%	提出見積単価	11,730

になります。

提出見積単価を率により 1 円単位まで計算して、1 式の項目なども 1 円単位の単価になってしまうと、結局手で直さなければならなくなり、そのような無駄な手間を防ぐための機能です。この機能があるので提出に堪える見積書が簡単・迅速に作成できます。

\*34 システム情報／端数設定:[51ページ]

## 6. 各種設定

### 6.1. 見積書(工事)の情報を設定する

[設定]メニュー[工事情報の設定]コマンド  ボタン

現在編集中的見積書の情報を設定します。見積書の表紙に印刷される情報のほかに入力した条件設定なども設定します。

#### 工事情報の設定 ダイアログボックス



工事情報の設定

見積書No. J1B001 提出日 11/09/05

顧客名 山田 太郎

顧客名2

工事名 山田邸新築工事

敬称 御中

施工場所 東京都小平市天神町1-300-5

工期 07/04/01 ~ 07/07/31

見積有効期限 11年 12月10日

支払条件 御社規定

摘要

担当者 石川

原価率 80 % 調整率 100 %

消費税率 5 %

優先モード  基準見積から  実行予算から

見積書分類 初回概算

OK キャンセル ヘルプ(?)

図 6-1

#### 見積書 No.

見積書 No.を設定します。見積書レイアウトファイルで設定された**差込データ<見積書 No.>**位置に印刷されます。MtWinエクスプローラーで、この見積書No順に並べ替えて表示させることができます。最近の 100 データまでリストに記憶されます。

#### 提出日

提出日を設定します。形式は **YY/MM/DD** または **YYMMDD** です。見積書レイアウトファイルで設定された**差込データ<提出日>**位置に印刷されます。MtWinエクスプローラーで、この日付順に並べ替えて表示させることができます。

#### 顧客名

顧客名称を任意の文字で設定します。見積書レイアウトファイルで設定された**差込データ<顧客名1>**位置に印刷されます。MtWinエクスプローラーで、この顧客名順に並べ替えて表示させることができます。最近の 1000 顧客までリストに記憶されます。顧客リストの変更は[環境][顧客名マスターの

編集]コマンドで行えます。顧客名が1行のみの場合、こちらを使用します。[顧客名印刷のルール](#)

## 顧客名2

顧客名称を任意の文字で設定します。見積書レイアウトファイルで設定された**差込データ<顧客名2>**位置に印刷されます。

## 敬称

見積書に印刷する敬称を敬称マスターの中から設定します。見積書レイアウトファイルで設定された**差込データ<敬称>**に印刷されます。印刷される位置は顧客名に応じてシステムで自動調整されます。最近の20種類までリストに記憶されます。敬称リストの変更は[環境][敬称マスターの編集]コマンドで行えます。

## 工事名

工事名称を任意の文字で設定します。MtWinエクスプローラーで、この工事名順に並べ替えて表示させることができます。見積書レイアウトファイルで設定された**差込データ<工事名称>**位置に印刷されます。

## 施工場所

施工場所を任意の文字で設定します。見積書レイアウトファイルで設定された**差込データ<工事場所>**位置に印刷されます。

## 工期

工期を設定します。入力は **YY/MM/DD** または **YYMMDD** の形式で行います。見積書レイアウトファイルで設定された**差込データ<工期開始>**、**<工期終了>**位置に印刷されます。

## 見積有効期限

見積有効期限を任意の文字で設定します。見積書レイアウトファイルで設定された**差込データ<有効期限>**位置に印刷されます。

## 支払条件

支払条件を任意の文字で設定します。見積書レイアウトファイルで設定された**差込データ<支払条件>**位置に印刷されます。

## 摘要

摘要を任意の文字で設定します。摘要文は3行あります。見積書レイアウトファイルで設定された**差込データ<摘要1>**、**<摘要2>**、**<摘要3>**位置に印刷されます。

## 担当者

担当者を営業担当者マスターから選び、設定します。見積書レイアウトファイルで設定された**差込データ<営業担当者>**位置に印刷されます。MtWinエクスプローラーで、この担当者順に並べ替えて表示させることができます。最近の300担当者までリストに記憶されます。担当者リストの変更は[環境][担当者マスターの編集]コマンドで行えます。

### 原価率

この工事の原価率\*<sup>35</sup>を設定します。この設定の値が、各行の入力時に初期表示され、計算されます。

### 調整率

この工事の調整率\*<sup>36</sup>を設定します。この設定の値が、各行の入力時に初期表示され、計算されます。

### 優先モード

この工事の優先モード\*<sup>37</sup>を設定します。

### 消費税率

この工事の消費税率を設定します。[消費税](#)はここで設定された率で自動計算されます。

### 見積書分類

見積書の分類を任意の文字列で設定します。MtWinエクスプローラーで、この見積書分類順に並べ替えて表示させることができます。自由に設定し使える項目なので“決定”、“概算”、“予算書”など、一目でわかりやすく、検索しやすい分類を設定しておくで見積書を探すときに効率が上がります。最近の100分類までリストに記憶されます。分類リストの変更は[環境][見積書分類マスターの編集]コマンドで行えます。

**関連項目** 顧客、敬称、担当者、見積書分類マスター： 27ページ

---

\*<sup>35</sup> 原価率:[21ページ]

\*<sup>36</sup> 調整率:[21ページ]

\*<sup>37</sup> 優先モード:[20ページ]

## 6.2. システム情報の登録

### 6.2.1. [環境] メニュー [システム情報の設定] / 基本設定

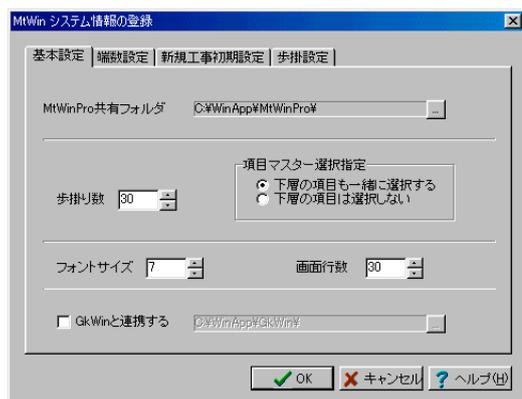


図 6-2

本システムを運用する上での基本的な条件等を設定します。

#### MtWinPro共有フォルダ

見積書レイアウトファイル、部材・項目マスター、歩掛り設定ファイルの置いてあるフォルダを指定します。ネットワーク環境で使用する場合、複数台での共有が可能となります。

#### 歩掛り数

最低限必要な歩掛り数を設定します。見積書入力時、歩掛りはメモリを多量に消費しますので最低限必要な数を設定するようにしてください。歩掛り入力画面ではここで設定された歩掛り数までの入力が可能となります。

#### 項目マスター選択時、下層の項目は選択しない

下層に項目を持つ部材・項目マスターを選択し、見積書に挿入するときに、一緒に下層の項目を挿入するか否かを設定します。この設定は全工事に対し一律に適用されます。

#### フォントサイズ

見積書入力画面のフォントサイズを指定します。

#### 画面行数

見積書入力画面の行数を指定します。

#### GkWinと連携する

弊社製原価管理システムGkWinと連携する場合にチェックし、GkWinのフォルダを指定します。

## 6.2.2 [環境] メニュー [システム情報の設定] / 端数設定



図 6-3

数量、単価等的小数点桁数、端数処理の方式を設定します。

### 小数点以下桁数

数量、単価の小数点以下の桁数を設定します。

### 端数処理方式

端数処理の方式を四捨五入・切り捨て・切り上げの中から選択します。この設定は全工事に対し一律に適用されます。

### 端数処理単位

端数処理の単位を選択します。ここで設定された桁で端数処理が行われます。この設定は全工事に対し一律に適用されます。

### 調整率による提出単価調整最小単位

提出見積単価調整時の、下限の単位を設定します。この設定は全工事に対し一律に適用されません。

### 6.2.3. [環境] メニュー [システム情報の設定] / 新規工事初期設定

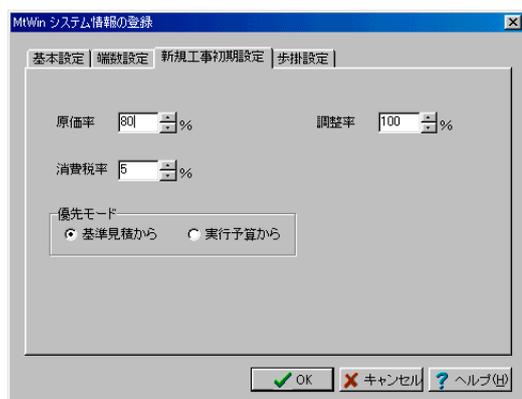


図 6-4

工事を新規に登録するときに、初期値として登録する項目を設定します。

#### 原価率

新規に登録する工事の原価率を設定します。この設定の値が、各行の入力時に初期表示され、計算されます。

#### 調整率

新規に登録する工事の調整率を設定します。この設定の値が、各行の入力時に初期表示され、計算されます。

#### 優先モード

新規に登録する工事の優先モードを設定します。

#### 消費税率

新規に登録する工事の消費税率を設定します。

## 6.2.4. [環境] メニュー [システム情報の設定] / 歩掛り設定



図 6-5

最大100までの歩掛り項目を設定することが可能です。ここでは100個まで歩掛りを登録できますが、見積書入力画面においては歩掛りの数が多いとメモリを多量に消費するために、見積書入力時に必要な歩掛り数をシステム情報の設定/基本設定で設定するようになっています。

名称	歩掛り入力画面のタイトルに表示する文字列です。
行に設定する文字列	自動生成する行の項目名称に設定する文字列です。
予算単価	歩掛りの計算対象の単価を設定します。労務費計算を行う場合、単価を設定します。
見積単価	歩掛りの計算対象の単価を設定します。労務費計算を行う場合、単価を設定します。



## 7. 印刷

### 7.1. 見積書印刷

 [ファイル][見積書の印刷]コマンド

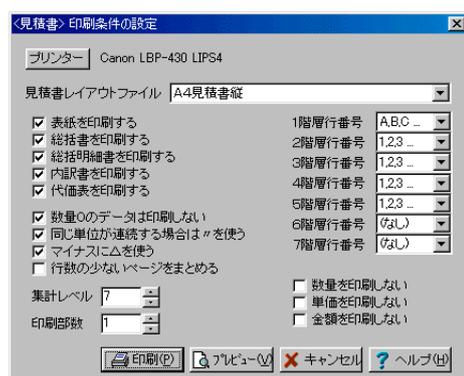


図 7-1

#### プリンター

使用するプリンターを指定します。

#### 見積書レイアウトファイル<sup>\*38</sup>

印刷に使用するレイアウトファイルを選択します。

#### 表紙を印刷する

表紙印刷の有無を設定します。

#### 総括書を印刷する

総括書印刷の有無を設定します。総括書は第1階層のデータを印刷します。

#### 総括明細書を印刷する

総括内訳書印刷の有無を設定します。総括明細書は第2階層のデータを印刷します。

#### 内訳書を印刷する

内訳書印刷の有無を設定します。内訳書は第3階層以下のデータを印刷します。

#### 代価表<sup>\*39</sup>を印刷する

代価表印刷の有無を設定します。代価表は土木工事などで使用される、単価内訳を記述する形式です。

<sup>\*38</sup> 見積書レイアウトファイル: [17ページ]

<sup>\*39</sup> 代価表: [21ページ]

**数量0のデータは印刷しない**

数量が0の行の印刷の有無を設定します。

**同じ単位が連続する場合" "を使う**

同じ単位が連続する場合の" "記号使用の有無を設定します。

**マイナスに△を使う**

マイナス金額の場合、△記号使用の有無を設定します。

**行数の少ないページをまとめる**

行数の少ない見積書が連続する場合、1ページに入りできれば1ページにまとめます。

**集計レベル**

どの階層までのデータを印刷するかを設定します。例えば3を設定した場合、最上位階層・2階層・3階層のデータのみが印刷され、それ以下の階層にあるデータは印刷されません。

**印刷部数**

印刷部数を指定します。

**集計レベル**

どの階層までのデータを印刷するかを設定します。例えば3を設定した場合、最上位階層・2階層・3階層のデータのみが印刷され、それ以下の階層にあるデータは印刷されません。

**1～7階層行番号**

明細行の行番号を階層毎に指定します。種類はローマ数字、アルファベット、数字、(なし)から選択します。

**数量を印刷しない**

数量欄を空欄にしたい場合にチェックします。

**単価を印刷しない**

単価欄を空欄にしたい場合にチェックします。

**金額を印刷しない**

金額欄を空欄にしたい場合にチェックします。

ボタンで印刷、ボタンでプレビューを実行します。

**指定のページを印刷したい場合**

プレビュー画面で、印刷を実行しページを指定します。(図 7-2)

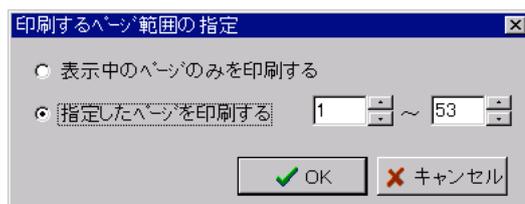


図 7-2

## 7.2. 見積書一覧表

見積書一覧表は複数の見積書の内容を一覧できる形式で印刷する帳票です。印刷はMtWinエクスプローラー\*40で印刷したい工事を選択しボタンで行います。

見積書一覧表

工事名称	工事場所	顧客名称	見積書ID	見積書種別	担当者	提出日	実行予算金額	提出見積金額	予定引当金額	利益率
山田屋新築工事	東京都小平市元神野1-300-5	山田 太郎	99063	営業一部	11/ 2/ 5	51,180,435	58,200,000	7,019,565	13.1	
マイストア東大和店改修工事	東京都東大和市元町1-2-5-1-5	多摩総合建設株式会社	990911	営業一部	11/ 6/17	28,490,681	35,334,550	6,843,869	19.4	
(仮称) 空自自動車新築工事	八王子市南台2-2-5-9	(株) 栄自動車	990605	決意	11/ 6/12	105,247,441	124,945,660	18,798,219	15.2	
マイストア東大和店新築工事(追加工事)	東京都東大和市元町1-2-5-1-5	多摩総合建設株式会社	990625	営業一部	11/ 6/23	5,586,000	6,982,500	1,396,500	20.0	
武蔵野サンコート滝山駅南側建設工事	東京都東村山市滝山3-3-0-1-1	武蔵野サンコート滝山管理組合	990731		11/ 6/ 1	1,400,000	1,750,000	350,000	20.0	
武蔵野サンコート化整のせみ取替工事	東京都東村山市滝山3-3-0-1-1	武蔵野サンコート滝山管理組合	990726		11/ 6/ 1	841,000	903,600	62,500	9.9	
マイストア東大和店新築工事(追加工事)	東京都東大和市元町1-2-5-1-5	多摩総合建設株式会社	990625	営業一部	11/ 5/30	5,549,605	6,617,620	1,067,985	16.1	
マイストア東大和店新築工事1(追加工事)	東京都東大和市元町1-2-5-1-5	多摩総合建設株式会社	990625	営業一部	11/ 5/26	5,910,779	7,177,140	1,266,381	17.6	
(仮称) 神野シールドマンション新築工事	東京都目黒区神野1-3-0-1	石田不動産株式会社	990618		11/ 5/21	128,402,204	153,478,180	25,075,976	17.7	
国田邸 外構工事	東京都府中市国田3-4-1-1	株式会社東京建設	990531		11/ 5/ 2	405,700	568,700	163,000	30.0	
マイストア東大和店新築工事2	東京都東大和市元町1-2-5-1-5	多摩総合建設株式会社	9905711	予算編成	11/ 5/23	41,515,000	64,082,800	22,567,720	35.2	
マイストア東大和店新築工事2	東京都東大和市元町1-2-5-1-5	多摩総合建設株式会社	9905711	決意	11/ 5/23	41,515,000	64,082,800	22,567,720	35.2	
小平南中コンピュータ教室設置工事	東京都小平市南中1-15-7	小平市	990521		11/ 3/ 1	9,962,000	12,440,250	2,478,150	19.9	
マイストア東大和店新築工事	東京都東大和市元町1-2-5-1-5	多摩総合建設株式会社	990516	営業一部	11/ 4/25	21,140,000	26,450,000	5,290,000	20.0	
マイストア東大和店看板基礎工事	東京都東大和市元町1-2-5-1-5	多摩総合建設株式会社	990509	営業一部	11/ 4/11	514,800	624,000	109,114	17.5	

\*40MtWinエクスプローラー:[15ページ]



## 7.4. 詳細報告書

詳細報告書はその物件の最終的な状況(実行・基準・提出)を一覧できる形式で印刷します。

### 見積詳細報告書

工事名: 山田邸新築工事		PAGE 1				
名 称 仕 様	実行予算金額	基準見積金額	調整率	提出見積金額	利益金額	利益率
<b>建築工事</b>	<b>37,151,205</b>	<b>46,443,700</b>	<b>0.9</b>	<b>42,215,252</b>	<b>5,124,047</b>	<b>13.8</b>
共通仮設工事	1,910,000	2,387,500	0.9	2,174,000	264,000	13.8
直接仮設工事	1,120,280	1,400,350	0.9	1,276,150	155,870	13.9
土 工事	981,040	1,226,300	0.9	1,116,460	155,420	13.8
コンクリート工事	1,244,960	1,556,200	0.9	1,422,800	177,840	14.3
型枠工事	338,400	423,000	0.9	387,000	48,600	14.4
鉄筋工事	401,740	504,025	0.9	456,935	55,195	13.7
鉄骨工事	3,633,157	4,544,290	0.9	4,147,888	514,731	14.2
外壁工事	1,299,920	1,624,900	0.9	1,469,600	169,680	13.1
ドラフティング工事	2,183,200	2,729,000	0.9	2,484,000	300,800	13.8
防水工事	301,000	376,250	0.9	342,000	41,000	13.6
金属工事	3,079,920	3,849,900	0.9	3,496,900	416,980	13.5
屋根工事	946,960	1,183,700	0.9	1,064,800	117,840	12.4
鋼製建具工事	6,068,728	7,585,910	0.9	6,904,650	835,922	13.8
木製建具工事	348,640	435,800	0.9	396,400	47,760	13.7
硝子工事	2,193,572	2,741,965	0.9	2,482,639	289,067	13.2
木 工事	1,920,000	2,400,000	0.9	2,185,000	265,000	13.8
石・タイル工事	2,251,600	2,814,500	0.9	2,562,300	310,700	13.8
左官工事	316,784	395,980	0.9	360,300	43,516	13.7
吹付工事	203,520	254,400	0.9	238,500	34,980	17.2
塗装工事	407,864	509,830	0.9	460,390	52,526	12.9
内装工事	2,769,840	3,462,300	0.9	3,173,640	403,800	14.6
雑 工事	3,230,080	4,037,600	0.9	3,672,900	442,820	13.7
<b>電気設備工事</b>	<b>3,258,263</b>	<b>4,069,844</b>	<b>0.9</b>	<b>3,706,690</b>	<b>448,297</b>	<b>13.8</b>
幹線設備工事	675,141	843,936	0.9	768,005	92,864	13.8
電灯コンセント設備工事	1,920,769	2,397,082	0.9	2,184,116	263,347	13.7
弱電設備工事	662,453	828,826	0.9	754,539	92,086	13.9
<b>給排水衛生設備工事</b>	<b>2,906,760</b>	<b>3,692,160</b>	<b>0.9</b>	<b>3,359,550</b>	<b>459,790</b>	<b>15.6</b>

## 7.5. 実行予算書(4要素)印刷

[ファイル]メニュー[データ印刷]コマンド 実行予算書(4要素)

4要素別実行予算書を印刷します。材料・労務・外注・経費別に集計された予算書が印刷されます。

実行予算総括表 は大・中項目ごとの予算書を印刷します。

実行予算内訳表 は中分類毎の内訳(小分類)を印刷します。

実行予算リスト は指定した階層までのデータをリスト形式で印刷します。

関連項目 4要素別実行予算：24ページ

実行予算(4要素)入力画面：36ページ

### 7.5.1. 4要素別実行予算総括書

工種ごとの4要素実行予算の合計を集計・印刷します。帳票の左側には工事の項目が、右側には経費の項目が印刷されます。**最上位階層の一番最後のデータ行を自動的に経費項目として、右側に印刷します。**

印刷時に指定する“**工種の**”階層はその見積書内で工種に該当する階層を指定します。一般的な建築の見積書では第2階層に工種がありますが、第1階層や第3階層などに工種が配置されている場合など、状況に応じてその階層を指定します。

4要素別実行予算総括書

11年 8月12日作成 Page 1

工 事 名		山田邸新築工事		予算(原工費)		45,112,428		
発 注 者		山田 太郎		予算(経費)		176,000		
工 期		11年 4月 1日 ~ 11年 7月31日		予算合計		45,288,428		
項目名称	直 接 工 事 費 内 訳				合 計	項目名称	経 費 内 訳	
	材 料 費	労 務 費	外 注 費	経 費			金 額	摘要
建築工事	16,492,237	8,533,906	9,708,120	2,599,481	37,333,744	諸経費	4,652,767	
共通仮設工事	252,500	185,000	400,000	1,072,500	1,910,000			
直接仮設工事	162,040	644,480	0	313,760	1,120,280			
土 工事	49,920	173,608	737,512	40,000	992,040			
マシナリ工事	676,120	88,000	492,000	12,400	1,268,520			
型枠工事	325,080	0	0	14,400	339,480			
鉄筋工事	292,470	186,560	0	27,136	416,166			
鉄骨工事	2,034,848	695,908	842,560	64,000	3,637,316			
外壁工事	329,036	687,228	0	289,920	1,306,184			
ドラフツ工事	1,642,200	491,000	0	50,000	2,183,200			
防水工事	0	0	301,280	0	301,280			
金属工事	1,465,974	1,391,385	0	233,225	3,090,584			
屋根工事	0	0	949,264	0	949,264			
鋼製建具工事	3,929,120	1,815,920	0	323,688	6,068,728			
木製建具工事	251,440	97,200	0	0	348,640			
硝子工事	1,713,809	394,217	0	158,452	2,266,478			
水 工事	960,000	960,000	0	0	1,920,000			
石・タイル工事	0	0	2,279,320	0	2,279,320			
左官工事	0	0	323,840	0	323,840			
吹付工事	0	0	203,520	0	203,520			
塗装工事	0	0	408,984	0	408,984			
内装工事	0	0	2,769,840	0	2,769,840			
雑 工事	2,506,680	723,400	0	0	3,230,080			
電気設備工事	0	0	2,424,180	0	2,424,180			
幹線設備工事	0	0	641,232	0	641,232			

## 7.5.2 4要素別実行予算内訳書

工種ごとの4要素実行予算の内訳を集計・印刷します。左肩に工種が表示されます。印刷時に指定する“工種の”階層はその見積書内で工種に該当する階層を指定します。一般的な建築の見積書では第2階層に工種がありますが、第1階層や第3階層などに工種が配置されている場合など、状況に応じてその階層を指定します。

4 要素別実行予算内訳書

工事:山田屋新築工事  
工種:建築工事-共通仮設工事

11年 8月31日作成 Page 1

項目名称	予算数量	予算単価	(材料単価) 材 料 費	(労務単価) 労 務 費	(外注単価) 外 注 費	(経費単価) 経 費	合 計
仮設電力電灯費	1	48,000	(8000) 8,000	(15000) 15,000	0	(25000) 25,000	48,000
仮設電話設備費	1	120,000	(20000) 20,000	(30000) 30,000	0	(70000) 70,000	120,000
仮設水道設備費	1	32,000	(2000) 2,000	(10000) 10,000	0	(20000) 20,000	32,000
仮囲い	5	2,800	(500) 2,500	0	0	(300) 11,500	14,000
借地料	1	480,000	0	0	0	(480000) 480,000	480,000
道路占用補修費	1	120,000	(30000) 20,000	0	0	(100000) 100,000	120,000
雑材料費	1	24,000	(24000) 24,000	0	0	0	24,000
清掃片付	1	120,000	0	(85000) 85,000	0	(35000) 35,000	120,000
仮設材運搬費	1	280,000	0	(25000) 25,000	0	(255000) 255,000	280,000
安全対策費	1	400,000	0	0	(400000) 400,000	0	400,000
材料検査費用	1	36,000	(36000) 36,000	0	0	0	36,000
工事用写真費	1	24,000	0	0	0	(24000) 24,000	24,000
仮設搬出入調整備費 鋼板	1	160,000	(140000) 140,000	(20000) 20,000	0	0	160,000
機械損料	1	28,000	0	0	0	(28000) 28,000	28,000
架空電線防護費用	1	24,000	0	0	0	(24000) 24,000	24,000
近隣対策費用	1	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	(1x252500) 252,500	(1x185000) 185,000	(1x400000) 400,000	(1x1072500) 1,072,500	1,910,000

## 7.5.3. 4要素別実行予算リスト

4要素別実行予算のリストを印刷します。

## 4要素別実行予算リスト

工事名:山田邸新築工事

PAGE 1

名 称 仕 様	材 料 費	労 務 費	外 注 費	経 費	予 算 金 額
建築工事	16,492,237	8,533,906	9,708,120	2,599,481	37,333,744
共通仮設工事	252,500	185,000	400,000	1,072,500	1,910,000
仮設電力電灯費	8,000	15,000	0	25,000	48,000
仮設電話設備費	20,000	30,000	0	70,000	120,000
仮設水道設備費	2,000	10,000	0	20,000	32,000
仮囲い	2,500	0	0	11,500	14,000
借地料	0	0	0	480,000	480,000
道路占用補修費	20,000	0	0	100,000	120,000
雑材料費	24,000	0	0	0	24,000
清掃片付	0	85,000	0	35,000	120,000
仮設材運搬費	0	25,000	0	255,000	280,000
安全対策費	0	0	400,000	0	400,000
材料検査費用	36,000	0	0	0	36,000
工事用写真費	0	0	0	24,000	24,000
仮設搬出入調整備費 銅板	140,000	20,000	0	0	160,000
機械損料	0	0	0	28,000	28,000
架空電線防護費用	0	0	0	24,000	24,000
近隣対策費用	0	0	0	0	0
合 計	252,500	185,000	400,000	1,072,500	1,910,000
直線仮設工事	162,040	644,480	0	313,760	1,120,280
水盛り やり方	3,360	5,600	0	0	8,960
墨出し	0	28,000	0	0	28,000
現寸 型板	26,000	30,000	0	0	56,000
外部 足場架払	51,520	161,000	0	96,600	309,120
屋根 足場架払	13,920	52,200	0	24,360	90,480
階段 足場架払	15,000	18,000	0	7,000	40,000
壁り残燭	20,000	5,000	0	3,000	28,000
内部 足場架払	0	59,520	0	0	59,520
鉄筋 足場架払	0	16,280	0	0	16,280

## 7.6. 業者集計総括表/業者集計明細表

[ファイル][データ印刷]業者集計表コマンド

業者集計表は実行予算を業者別に集計\*42したリストを印刷します。

**業者集計総括表** は業者毎の合計を一覧できます。

**業者集計明細表** は各業者毎の明細リストを印刷します。

業者別集計明細表

工事名:山田邸新築工事				PAGE	1
名 称	仕 様	実行数量	単位	実行単価	実行予算金額
その他業者					
電気設備工事				3,258,363	
幹線設備工事				675,141	
露出配管		35	m	740	25,900
露出配管		40	m	780	31,200
1V電線 単線		40	m	5	196
1V電線 単線		25	m	6	143
電線管		35	m	310	10,850
同上付属品		1	式	4,366	4,366
ケーブル		40	m	806	32,240
電線		30	m	50	1,500
電灯盤		1	面	92,740	92,740
メータボックス		1	面	189,612	189,612
設置材料		1	式	11,000	11,000
消耗品雑材		1	式	17,994	17,994
束電申請費		1	式	55,000	55,000
運搬費		1	式	20,200	20,200
電工費		1	式	182,200	182,200
電灯コンセント設備工事				1,920,769	
露出配管		580	m	740	429,200
露出配管		475	m	780	370,500
1V電線 単線		33	m	5	162
1V電線 単線		28	m	6	160
埋込形 4個用		3	個	2,660	7,980
電線管		170	m	49	8,330

\*42 業者管理:[23ページ]



## 8. 見積書レイアウトファイルの編集

MtWin の[環境]メニュー[見積書レイアウトファイルの編集]コマンドで見積書レイアウト\*<sup>43</sup>の編集が行えます。

### 8.1. 基本的な考え方

見積書、請求書、注文書、実行予算書のレイアウトを作成するためのプログラムで、一般的な DRAW プログラム同様に文字・直線・矩形(四角形)・丸角矩形(丸角四角形)を描画出来ます。MtWin のデータを印字する項目を 差込データとして、任意の位置に任意のフォントで配置が出来ます。1つのレイアウトファイルで、**表紙/内訳書**の設定を行います。

レイアウトプログラムの白い画面をキャンバスと呼びます。キャンバスに描かれた文字・直線・矩形・丸角矩形・差込データをオブジェクトと呼びます。例えば描画された直線のことを直線オブジェクト、矩形のことを矩形オブジェクト、... などと呼びます。

常に以下のツールのいずれかを選択し、作業を行います。

選択ツール

 選択ツール	既存のオブジェクトを選択し、移動・変形・属性変更・削除等を行います。
 文字入力ツール	文字オブジェクトを入力します。
 直線描画ツール	直線オブジェクトを描画します。
 矩形描画ツール	矩形(四角形) オブジェクトを描画します。
 丸角矩形描画ツール	丸角矩形(角の丸い四角形)オブジェクトを描画します。
 差込データツール	差込データを配置します。

表紙と内訳書をそれぞれ別々にデザインします。切り替えは下記のリストボックスで行います。



一般的なレイアウトファイルの例

#### 実行予算書

実行予算データを配置します。

#### 注文書

表紙に<業者名>を配置し、実行予算データを配置します。

\*<sup>43</sup> 見積書レイアウトファイル: [17ページ]

### 消費税込みの見積書・請求書

表紙の見積金額の部分に<提出合計+消費税>を配置します。

消費税額を明示したい場合には、“上記金額には消費税” <提出消費税> “が含まれています。”とレイアウトに配置します。

### 消費税抜きの見積書・請求書

表紙の見積金額の部分に<提出合計>を配置します。

## 8.2. 付属の見積書レイアウトを変えてみる

それでは詳しい説明の前に、付属の見積書レイアウトを変更してみましょう。

1. MtWinProの[環境][見積書レイアウトファイルの編集]コマンドで“B5見積書A”を開きます。
2. MtLayoutで[表示][66%]を選択。
3.  選択ツールを選択し、“イチホコンピュータ”の文字をクリック。

株式会社  
イチホコンピュータ  
〒187-0004 東京都小平市天神町1-300-5  
TEL 042-349-7220  
FAX 042-349-7221

この状態で“イチホコンピュータ”文字列が選択（操作の対象）されました。次にダブルクリックで“イチホコンピュータ”の文字が変更できるようになります。御社の社名を入力してください。同様に住所電話番号等も変更してみましょう。

4. 次に内訳書に切り替えます。



5. 内訳書の一番下にある“地域に貢献する 株式会社イチホコンピュータ”の文字列も同様に変更してみましょう。

6.  [ファイル][上書き保存]コマンドで“B5見積書A”を保存します。

これでとりあえず御社の見積書が出来あがりました。

いろいろな見積書レイアウトファイルが付属していますので御社の用途にあった見積書レイアウトを上記のように変更してご使用下さい。



## 8.3. 用紙のサイズ・向き・余白の設定

[設定]メニュー[用紙設定]コマンド

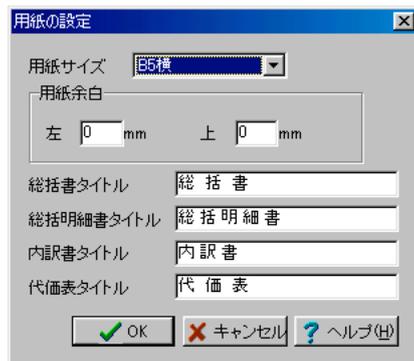


図 8-3

### 用紙サイズ

B5横・A4縦・A4横から選択します。

### 用紙余白

左・上の余白を指定します。

### 総括書タイトル

最上位階層の見積書の<内訳書タイトル>部分に差し込まれて印刷されます。

### 総括書明細書タイトル

第2階層の見積書の<内訳書タイトル>部分に差し込まれて印刷されます。

### 内訳書タイトル

第3階層以下の見積書の<内訳書タイトル>部分に差し込まれて印刷されます。

### 代価表タイトル

代価表の<内訳書タイトル>部分に差し込まれて印刷されます。

## 8.4. 選択ツール (オブジェクトの移動・変形・属性変更・削除)

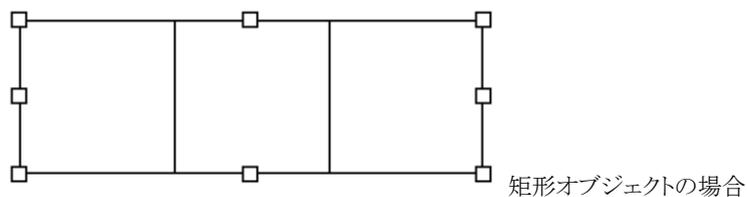
[ツール]メニュー[図形指定]コマンド  ボタン

既存のオブジェクトを選択したり、移動・変形・属性変更・削除等を行うツールです。

オブジェクト変更のおおよその手順を以下に簡単に説明します。

1.  ボタンで選択ツールにします。
2. 既存のオブジェクトをクリックし、選択します。
3. そのオブジェクトを移動・変形・属性変更・削除等を行います。
4. キャンバスのオブジェクトが何も置かれていない部分をクリックすると、今までのオブジェクトの選択が解除されます。

選択ツールでオブジェクトを選択すると以下のように、オブジェクトがハンドル(白い四角)で囲まれます。



変形したい場合は、ハンドル(白い四角形)を変形したい方向へドラッグします。位置を変えたい場合はハンドルではなくオブジェクトそのものをドラッグします。

## 8.5. 文字オブジェクトを配置する

[ツール]メニュー[文字]コマンド  ボタン

文字ツールは、レイアウトに自由な文字を配置するツールです。文字ツールで任意の位置で左クリックすることにより入力が行えます。既に入力してある文字オブジェクトを修正する場合は、 選択ツールで文字オブジェクトを選択し、ダブルクリックします。

文字オブジェクトについては以下の属性設定が行えます。

	フォント名を指定する
	フォントサイズを指定する
	フォントサイズを大きくする
	フォントサイズを小さくする
	太字にする
	イタリックにする
	アンダーラインを引く
	文字の色を指定する
	文字を左揃えにする
	文字を中央揃えにする
	文字を右揃えにする

ハンドルが表示されているのがオブジェクトが選択されている状態です。

## 8.6. 直線オブジェクトを描く

[ツール]メニュー[直線]コマンド  ボタン

直線ツールは、直線を描画するためのツールです。開始位置で左ボタンを押し、終了位置までドラッグすることにより直線を描画できます。直線は水平・垂直のみです。変形・移動・色などの属性変更は選択ツール  を使います。

直線オブジェクトについては以下の属性設定が行えます。

-  線の色
-  線の幅
-  線の種類(線の種類は、線の幅が最も細いときのみ有効です。)

## 8.7. 矩形オブジェクトを描く

[ツール]メニュー[矩形]コマンド  ボタン

矩形ツールは、矩形(四角形)を描画するためのツールです。開始位置で左ボタンを押し、終了位置までドラッグすることにより矩形を描画できます。変形・移動・色などの属性変更は選択ツール  を使います。

矩形オブジェクトについては以下の属性設定が行えます。

-  線の色
-  塗りつぶしの色
-  線の幅
-  線の種類(線の種類は、線の幅が最も細いときのみ有効です。)

## 8.8. 丸角矩形オブジェクトを描く

[ツール]メニュー[丸角矩形]コマンド  ボタン

丸角矩形ツールは、角の丸い矩形(四角形)を描画するためのツールです。開始位置で左ボタンを押し、終了位置までドラッグすることにより丸角矩形を描画できます。変形・移動・色などの属性変更は選択ツール  を使います。

丸角矩形オブジェクトについては以下の属性設定が行えます。

-  線の色
-  塗りつぶしの色
-  線の幅

 線の種類(線の種類は、線の幅が最も細いときのみ有効です。)

## 8.9. 差込データを配置する

[ツール]メニュー[差込データ]コマンド  ボタン

差込データツールは、MtWinの見積データをレイアウトに配置するためのツールです。

文字と同様にフォント名、フォントサイズなどの指定が行えます。

差込データとは、印刷する見積書のデータの種類・位置・属性を指定するものです。例えば差込データ<見積書 No.>を配置してある場所には、設定されている属性(フォント、サイズ等)で、印刷時にその見積書に登録されている見積書 No.が印刷されます。



差込データ種別、差込データ印刷形式を指定する。

配置・書式指定などは文字オブジェクトと全く同様の設定が行えます。

### 差込データ種別

MtWin で設定、入力したデータを差込データとしてレイアウト中に挿入します。データ種別によっては形式の指定が必要なものがあります。<>で囲まれた項目は  工事情報\*<sup>44</sup>から設定され、[ ]で囲まれたデータは見積書の内容(行データ)から設定される項目です。見積書の行データは簡単に位置を揃えられる行データの自動整列機能が使えます。

<見積書 No>	工事情報登録で設定された見積書 No です。	
<顧客名>	工事情報登録で設定された顧客名です。	
<敬称>	工事情報登録で設定された敬称です。	
<提出日>	工事情報登録で設定された提出日です。	
<提出合計>	提出見積金額の消費税を除いた工事合計です。以下の印刷形式があります。	
	¥999, 999-	全角カンマ付、¥、-を付加
	999, 999	全角カンマ付
	999999	全角カンマ無し
	¥999,999,999-	半角カンマ付、¥、-を付加
	999,999,999	半角カンマ付
	999999999	半角カンマ無し
<提出消費税>	提出見積金額の消費税金額です。<提出合計>と同一の印刷形式があります。	
<提出合計+消費税>	提出見積金額の工事合計+消費税金額です。<提出合計>と同一の印刷形式があります。	

\*<sup>44</sup> 工事情報の設定:[47ページ]

<実行合計>	実行予算金額の消費税を除いた工事合計です。<提出合計>と同一の印刷形式があります。
<実行消費税>	実行予算金額の消費税金額です。<提出合計>と同一の印刷形式があります。
<実行合計+消費税>	実行予算金額の工事合計+消費税金額です。<提出合計>と同一の印刷形式があります。
<利益合計>	予定利益金額(提出見積金額-実行予算金額)です。<提出合計>と同一の印刷形式があります。
<合計利益率>	利益率(提出見積金額÷利益合計)です。<提出合計>と同一の印刷形式があります。
<工事名称>	工事情報登録で設定された工事名称です。
<工事場所>	工事情報登録で設定された現場住所です。
<工期開始>	工事情報登録で設定された工期の開始日です。以下の印刷形式があります。 99年99月99日 99年99月99日 99年99月99日 9999年99月99日 9999年99月99日 9999年99月99日 99/99/99 9999/99/99
<工期終了>	工事情報登録で設定された工期の終了日です。<工期開始>と同一の印刷形式があります。
<有効期限>	工事情報登録で設定された有効期限です。<工期開始>と同一の印刷形式があります。
<支払条件>	工事情報登録で設定された支払条件です。
<摘要1>	工事情報登録で設定された摘要1です。
<摘要2>	工事情報登録で設定された摘要2です。
<摘要3>	工事情報登録で設定された摘要3です。
<分類名>	入力画面で設定されている分類名です。
<担当者>	工事情報登録で設定された担当者です。
<内訳書タイトル>	この用紙に設定されている内訳書タイトルです。
<ページ>	見積書のページ番号です。
[行番号]	見積データの行番号です。
[項目名称]	見積データの項目名称です。
[項目名称2]	見積データの形状・規格名称です。
[摘要]	見積データの摘要です。
[単位]	見積データの単位です。

<b>[実行数量]</b>	見積データの実行予算数量です。以下の印刷形式があります。
	999,999_(.00 省略)      カンマ、ピリオド付、小数点00の場合省略
	999999_(.00 省略)      ピリオド付、小数点00の場合省略
	9999999_(00 省略)      小数点00の場合省略
	999,999.00              カンマ、ピリオド付
	999999.00              カンマ付
	999999900              カンマ、ピリオド無し
<b>[実行単価]</b>	見積データの実行予算単価です。以下の印刷形式があります。
	999,999,999              カンマ付、小数点表示無し
	999999999              カンマ無し、小数点表示無し
	999,999.0              カンマ付
	99999999.0              カンマ無し
	999999990,              カンマ、ピリオド無し
	999,999_(.0 省略)      カンマ付、小数点00の場合省略
	999999_(.0 省略)      ピリオド付、小数点00の場合省略
	9999990(0 省略)      カンマ、ピリオド無し、小数点00の場合省略
<b>[実行金額]</b>	見積データの実行予算金額(数量×単価)です。以下の印刷形式があります。
	999,999,999              半角カンマ付
	999999999              半角カンマ無し
	¥999,999,999-          半角カンマ付、¥、-を付加
	999, 999              全角カンマ付
	999999              全角カンマ無し
	¥999, 999-              全角カンマ付、¥、-を付加
<b>[提出数量]</b>	見積データの提出見積数量です。[実行数量]と同一の印刷形式があります。
<b>[提出単価]</b>	見積データの提出見積単価です。[実行単価]と同一の印刷形式があります。
<b>[提出金額]</b>	見積データの提出見積金額(数量×単価)です。[実行金額]と同一の印刷形式があります。
<b>[利益金額]</b>	見積データの利益金額(提出見積金額－実行予算金額)です。[実行金額]と同一の印刷形式があります。
<b>[利益率]</b>	見積データの利益率です。
<b>[実行予算構成比]</b>	実行予算の同一階層内の構成比です。
<b>[提出見積構成比]</b>	提出見積の同一階層内の構成比です。

## 8.10. 図形の位置・サイズを数値で指定する

図形の位置・サイズを数値で指定する

図形を選択し、以下のツールボックスで直接キー入力により指定します。

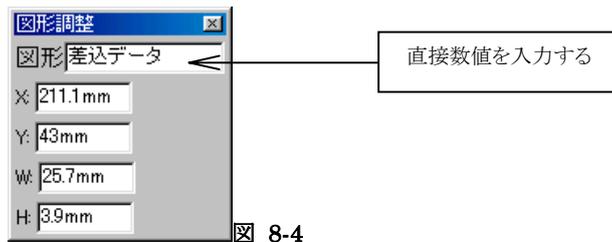


図 8-4

## 8.11. 行データの自動整列

[ツール]メニュー[行データの自動整列]コマンド

見積書では、同じ並びのデータ行が縦に連続して印刷されるため、同種の差込データを縦に連続して配置する必要があります。1つ1つのデータの位置を合わせるのは大変な手間がかかりますが、行の自動整列を使えば簡単に配列が行えます。

例: 項目名称を20行配置・整列する

1. 差込データの項目名称をおおよその位置に縦に配列していきます。
2. 一番上のデータの位置を正確に合わせます。
3. 一番上のデータを選択し、右クリック->自動整列コマンドまたは[ツール]メニュー[行データの自動整列]コマンド
4. 自動整列ダイアログボックスで間隔を指定すれば、他の項目名称が等間隔で配置されます。

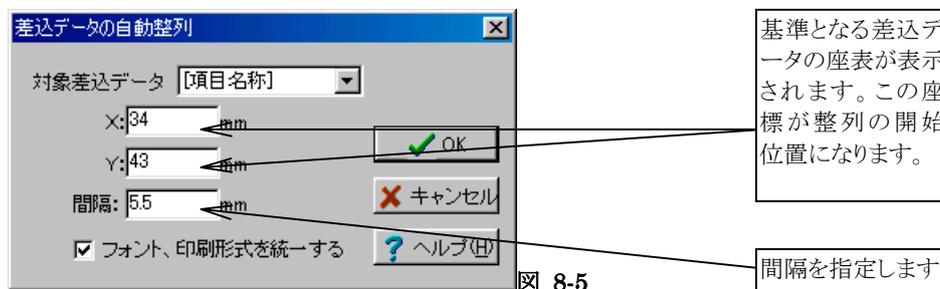


図 8-5

自動整列できる差込データについては差込データ種別をご覧ください。

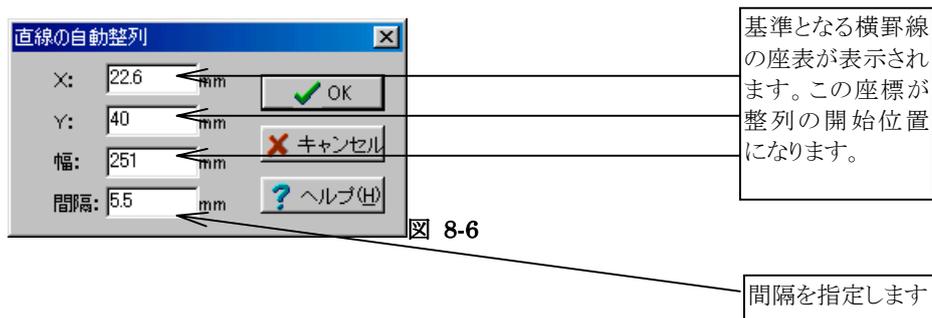
## 8.12. 横罫線の自動整列

[ツール]メニュー[横罫線の自動整列]コマンド

見積書では、横罫線を縦に連続して配置することが多く、1本 1本のデータの位置を合わせるのは大変な手間がかかりますが、横罫線の自動整列を使えば簡単に配列が行えます。

手順

1. 横罫線を必要な本数だけおおよその位置に縦に配列していきます。
2. 一番上の罫線の位置を正確に合わせます。
3. 一番上の罫線を選択し、右クリック->自動整列コマンドまたは[ツール]メニュー[横罫線の自動整列]コマンド
4. 自動整列ダイアログボックスで間隔を指定すれば、罫線が等間隔で配置されます。



## 8.13. ビットマップを貼り付ける

[編集]メニュー[ビットマップ読み込み]コマンド

ビットマップ読み込むことによって、ビットマップをレイアウトに貼り付けることが出来ます。読み込める形式はビットマップ (\*.bmp) およびウィンドウズメタファイル (\*.wmf, \*.emf) です。

## 8.14. オブジェクトを削除する

[編集]メニュー[切り取り]コマンド  ボタン

オブジェクトを削除する場合は、オブジェクトを選択し、[編集]メニュー[切り取り]コマンドまたは  ボタンを使います。

## 8.15. 図形の重なり順を変える

選択された図形を手前(1番上に重ねる)にする場合は  ボタン、後ろ(1番下に重ねる)にする場合は  ボタンを使います。

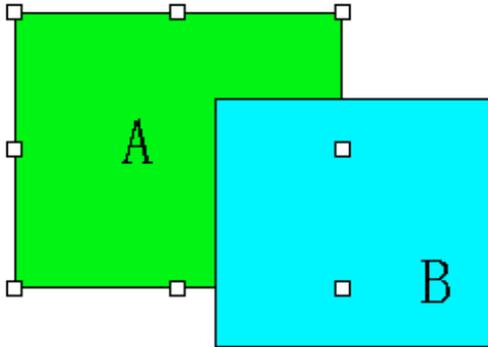


図 8-7

図形 A を選択した状態で  ボタンを押すと図形 A が手前に表示されます。

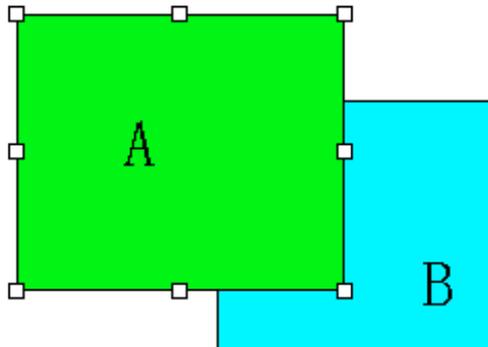


図 8-8

図形 A を選択した状態で  ボタンを押すと図形 A が後ろに表示されます。

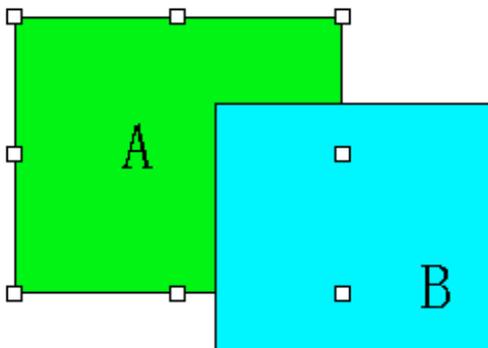


図 8-9

## 索引

<p>(財)経済調査会 ..... 28</p> <p>(財)建設物価調査会 ..... 28</p> <p>4要素別実行予算 ..... 24</p> <p>BCS. CSV ..... 15, 28</p> <p>GkWin ..... 24, 29, 50</p> <p>GkWin工種入力画面 ..... 39</p> <p>MtWinProの仕様 ..... 3</p> <p>MtWinエクスプローラー ..... 15</p> <p>MtWin共有フォルダ ..... 17, 26, 50</p> <p>セットアップパスワード ..... 24</p> <p>ドラッグ ..... 41, 42, 69, 71</p> <p>ハンドル ..... 69</p> <p>ライセンス ..... 24</p> <p>営業担当者 ..... 73</p> <p>横罫線の自動整列 ..... 76</p> <p>丸角矩形描画ツール ..... 65</p> <p>基準見積入力画面 ..... 33</p> <p>業者集計表 ..... 63</p> <p>矩形描画ツール ..... 65</p> <p>空白行 ..... 43</p> <p>敬称 ..... 72</p> <p>敬称マスター ..... 27</p> <p>検索 ..... 44</p> <p>見積書 No ..... 72</p> <p>見積書データファイル ..... 15</p> <p>見積書レイアウト ..... 65</p> <p>見積書レイアウトファイル ..... 17</p> <p>見積書一覧表 ..... 57</p> <p>見積書階層表示 ..... 44</p> <p>見積書分類マスター ..... 27</p> <p>原価率 ..... 21, 52</p> <p>顧客マスター ..... 27</p> <p>顧客名 ..... 72</p> <p>工期 ..... 73</p> <p>工事名 ..... 73</p> <p>行データ ..... 72</p>	<p>行データの自動整列 ..... 75</p> <p>行を切り取る ..... 42</p> <p>行を複写 ..... 41</p> <p>行属性 ..... 18, 43</p> <p>合計行 ..... 45</p> <p>差込データツール ..... 65, 72</p> <p>差込データ種別 ..... 72</p> <p>材料調書 ..... 58</p> <p>材料歩掛り ..... 22</p> <p>支払条件 ..... 73</p> <p>自動整列 ..... 72</p> <p>実行予算(4要素)入力画面 ..... 36</p> <p>実行予算/業者入力画面 ..... 35</p> <p>実行予算書(4要素) ..... 60</p> <p>実行予算入力画面 ..... 32</p> <p>小数点以下桁数 ..... 51</p> <p>消費税率 ..... 52</p> <p>詳細報告書 ..... 59</p> <p>図形の位置 ..... 75</p> <p>数量 ..... 43</p> <p>選択ツール ..... 65, 69</p> <p>総括書タイトル ..... 68</p> <p>総括書明細書タイトル ..... 68</p> <p>代価表 ..... 21, 68</p> <p>代価表タイトル ..... 68</p> <p>単位 ..... 73</p> <p>単位マスター ..... 27</p> <p>単価 ..... 43</p> <p>単価データFD ..... 28</p> <p>担当者マスター ..... 27</p> <p>端数処理 ..... 46</p> <p>端数処理単位 ..... 51</p> <p>端数処理方式 ..... 51</p> <p>調整 ..... 45</p> <p>調整率 ..... 21, 45, 52</p> <p>直線描画ツール ..... 65</p>
---	---

通常データ行 .....	42	部材コード .....	22
提出見積入力画面 .....	34	文字入力ツール .....	65
提出日 .....	72	歩掛り .....	53
摘要 .....	73	歩掛り管理 .....	22
摘要/部材コード入力画面 .....	38	歩掛り入力画面 .....	37
電卓 .....	43	優先モード .....	20, 52
内訳書タイトル .....	68	用紙サイズ .....	68
入力画面 .....	11, 31	用紙余白 .....	68
部材・項目マスター .....	25	労務歩掛り .....	22